

近くのお弁当屋さんに

パートに出た母

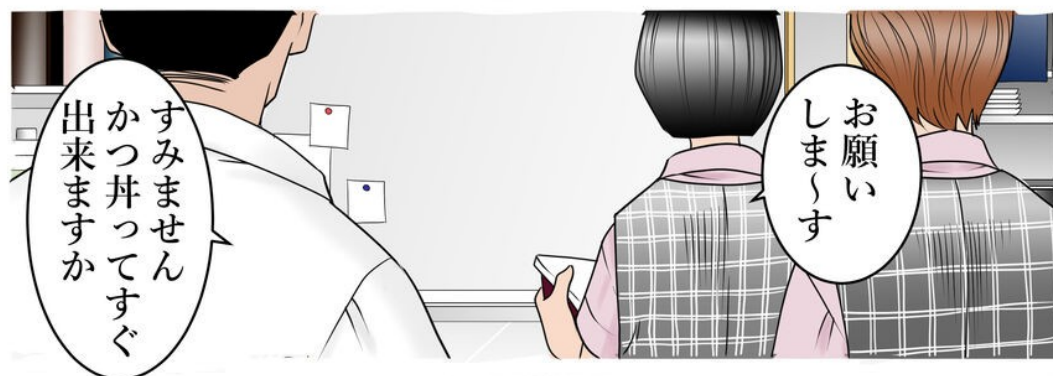
高原裕子

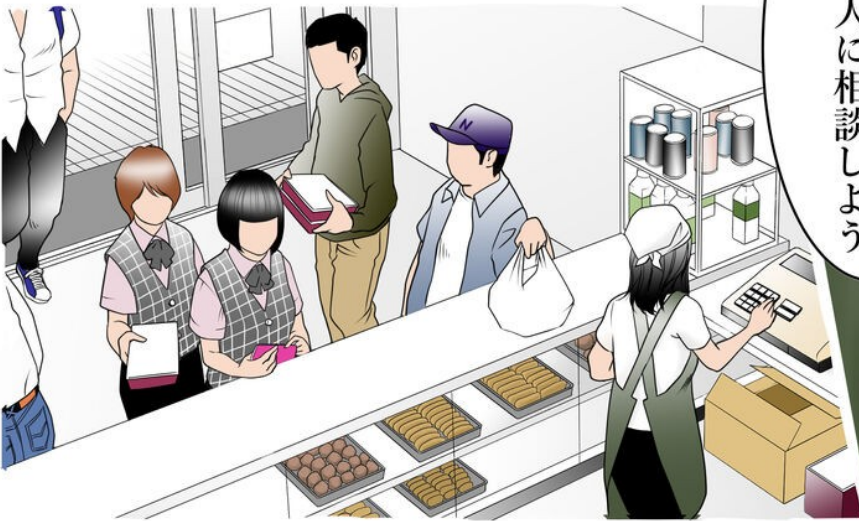
(42)が

ある日をさかいに

帰りが遅くなっただんです。



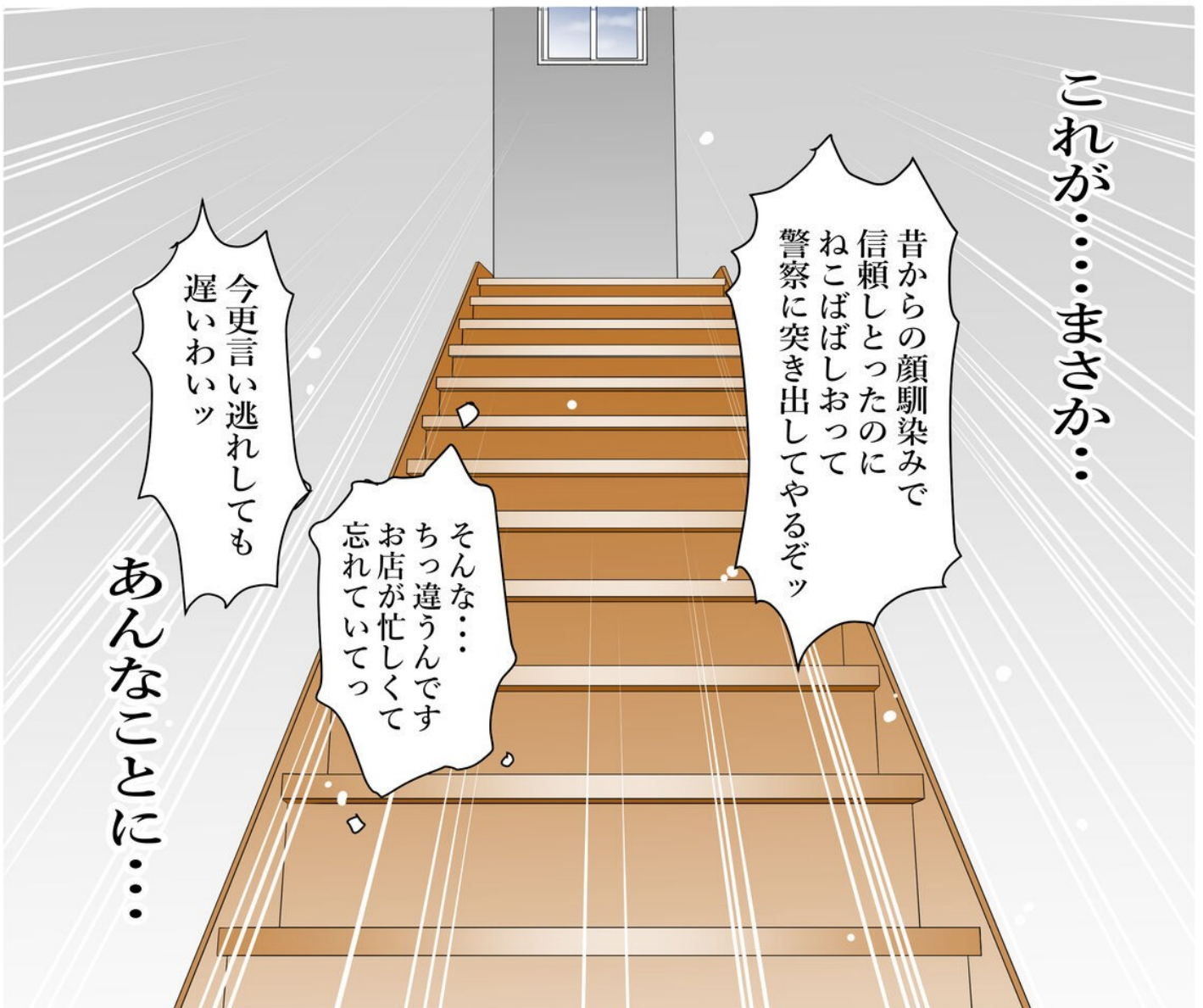




忙しい時間帯だから
後でご主人に相談しよう

落とされた方が来たら
レジに入れとくのも
失礼：：かな

ゴソッ



これが：：まさか：：

昔からの顔馴染みで
信頼しとったのに
ねこばしおって
警察に突き出してやるぞッ

そんな：：
ちっ違うんです
お店が忙しくて
忘れていてっ

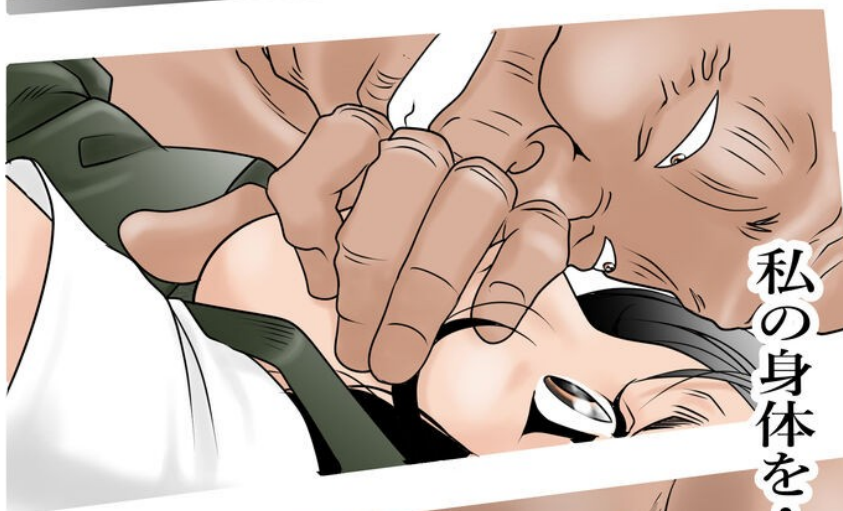
今更言い逃れしても
遅いわいッ

あんなことに：：





行為は更に
エスカレートして……



私の身体を……



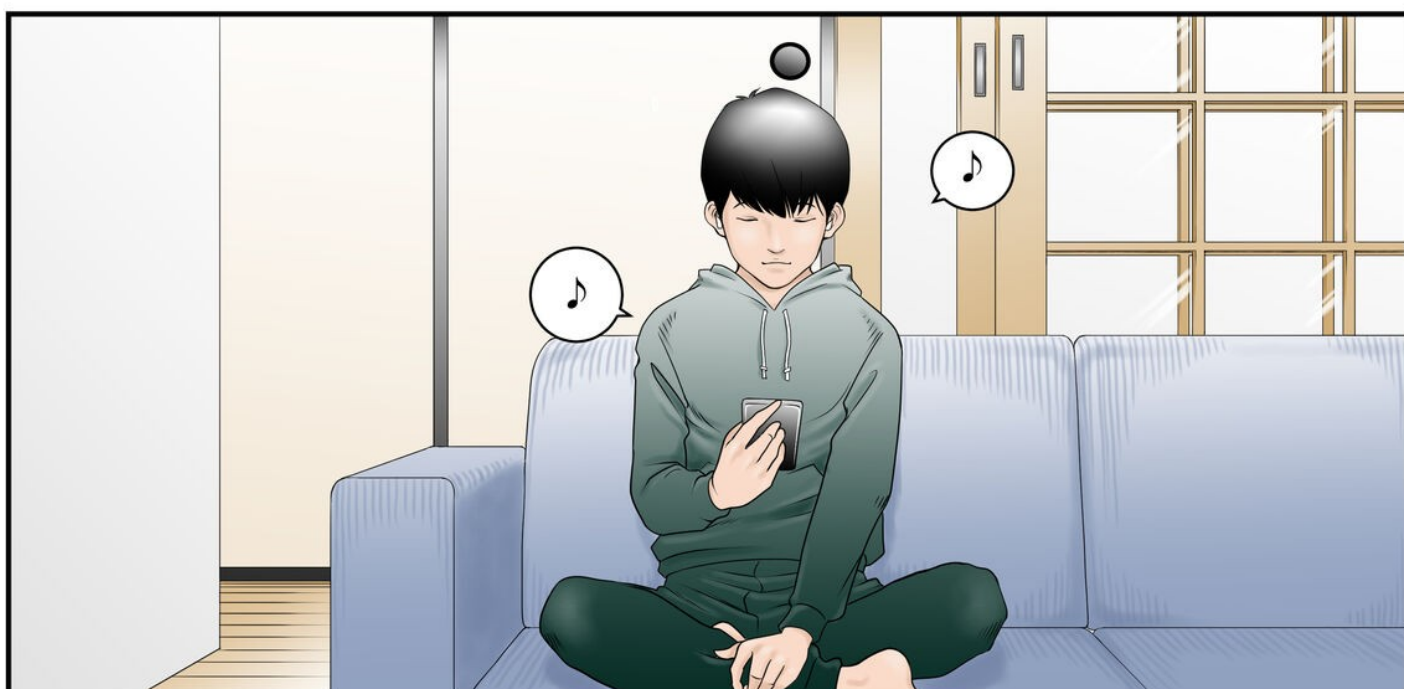
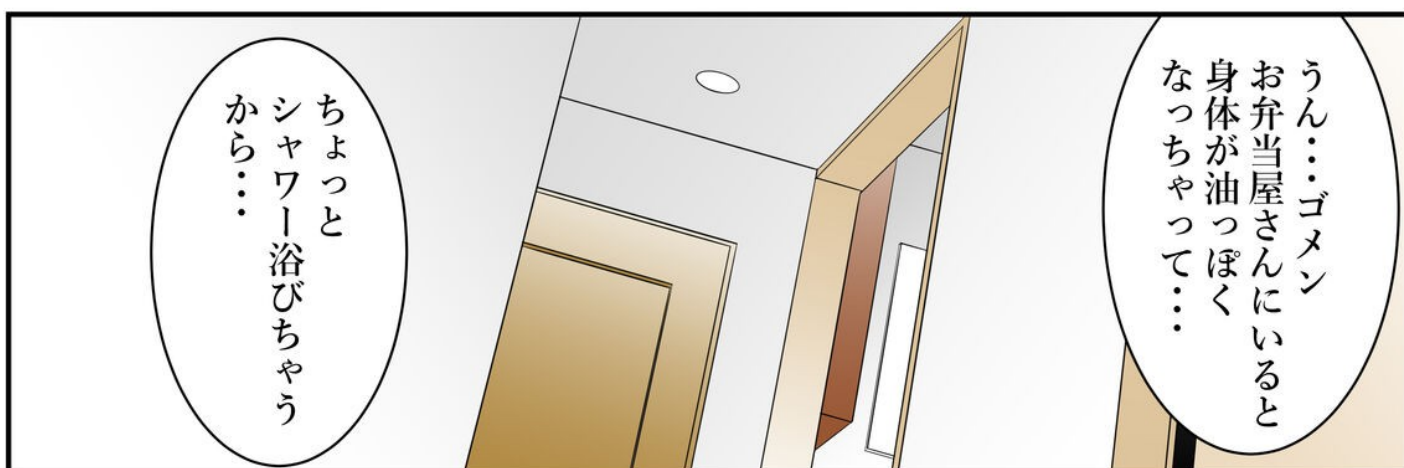
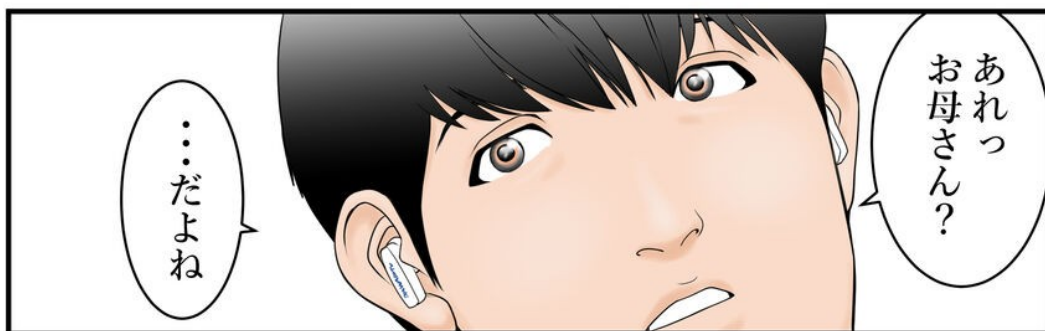
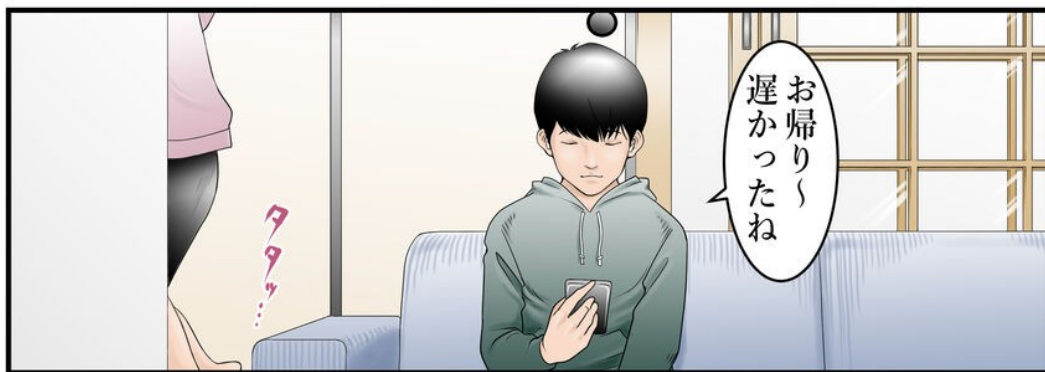
何度も……



「お店の営業を
つづけたまま……」

おい爺イ
また二階で
寝てんのか
勝手に持つてくぞ



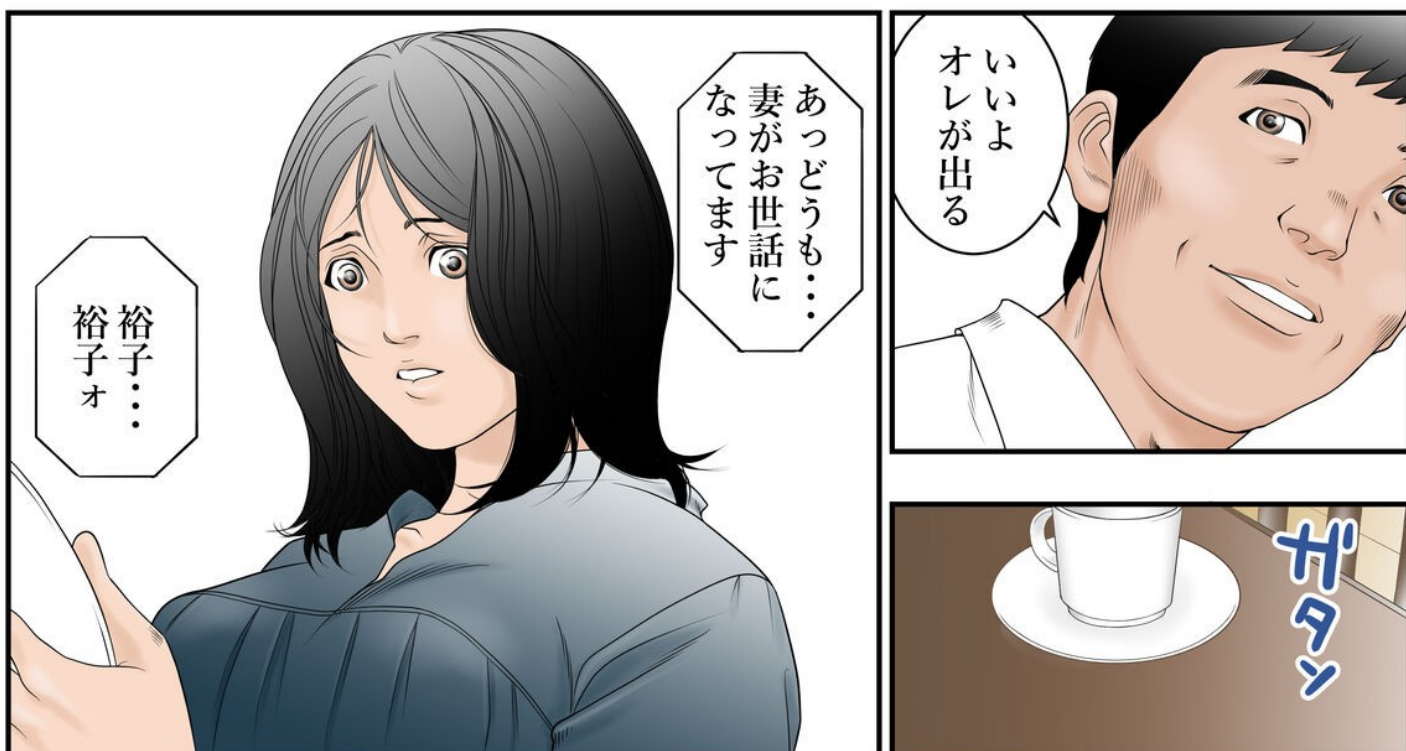
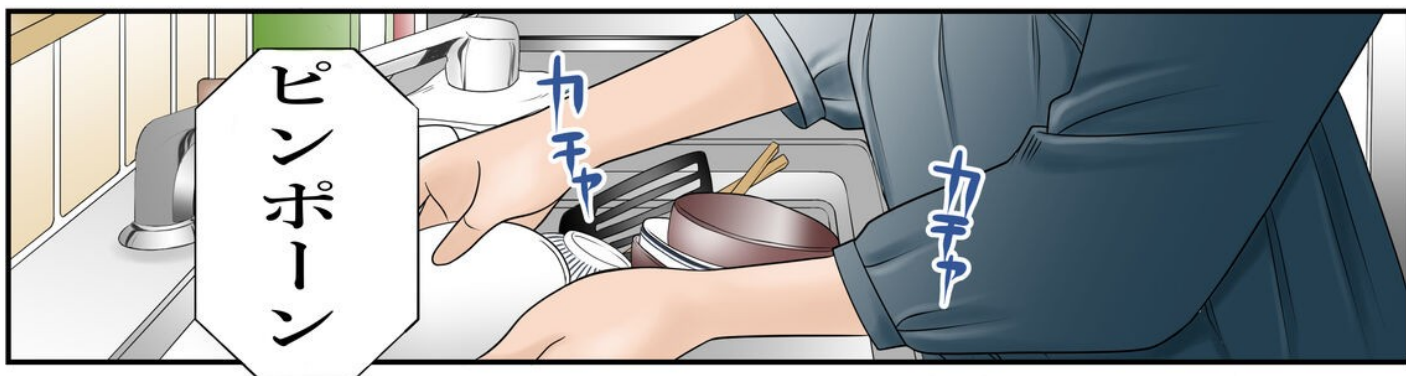
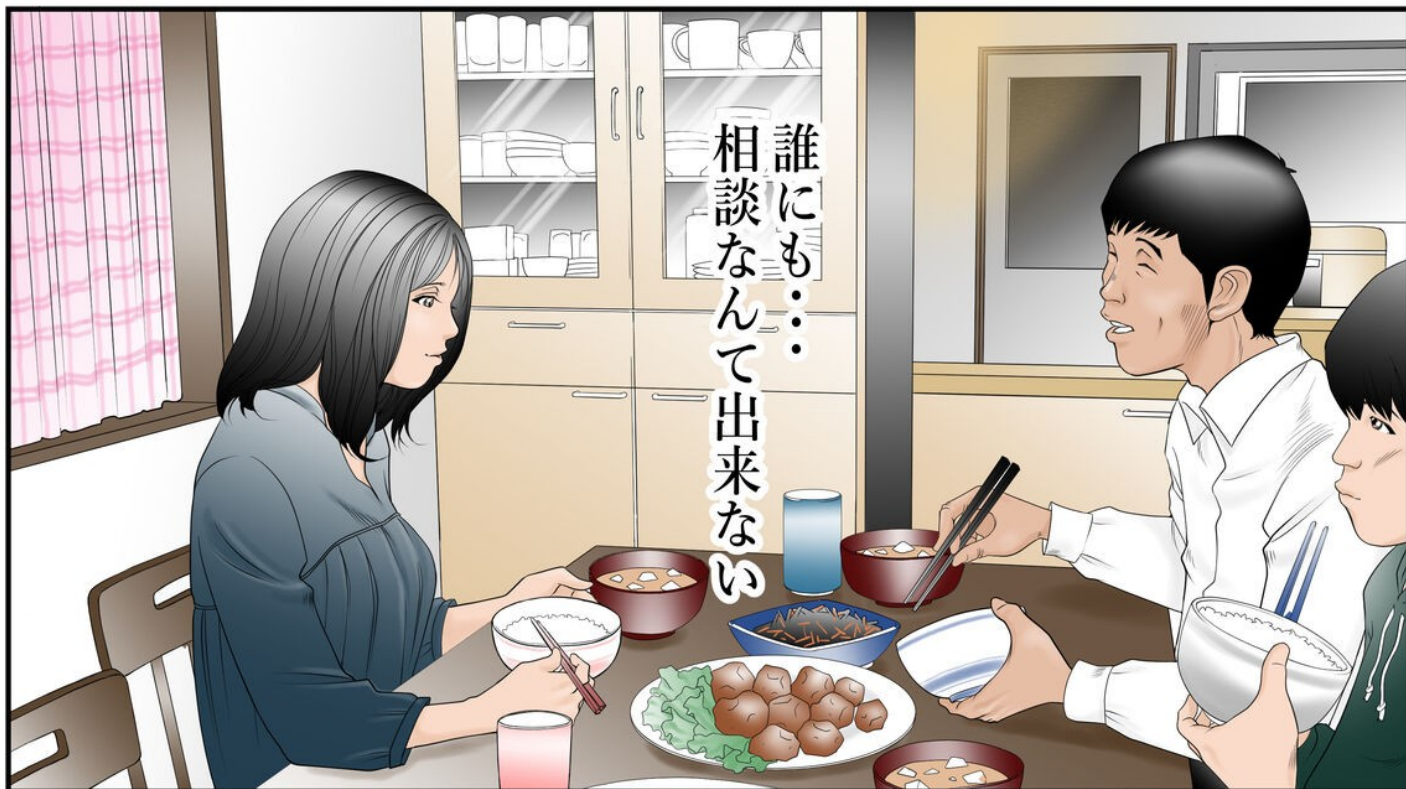


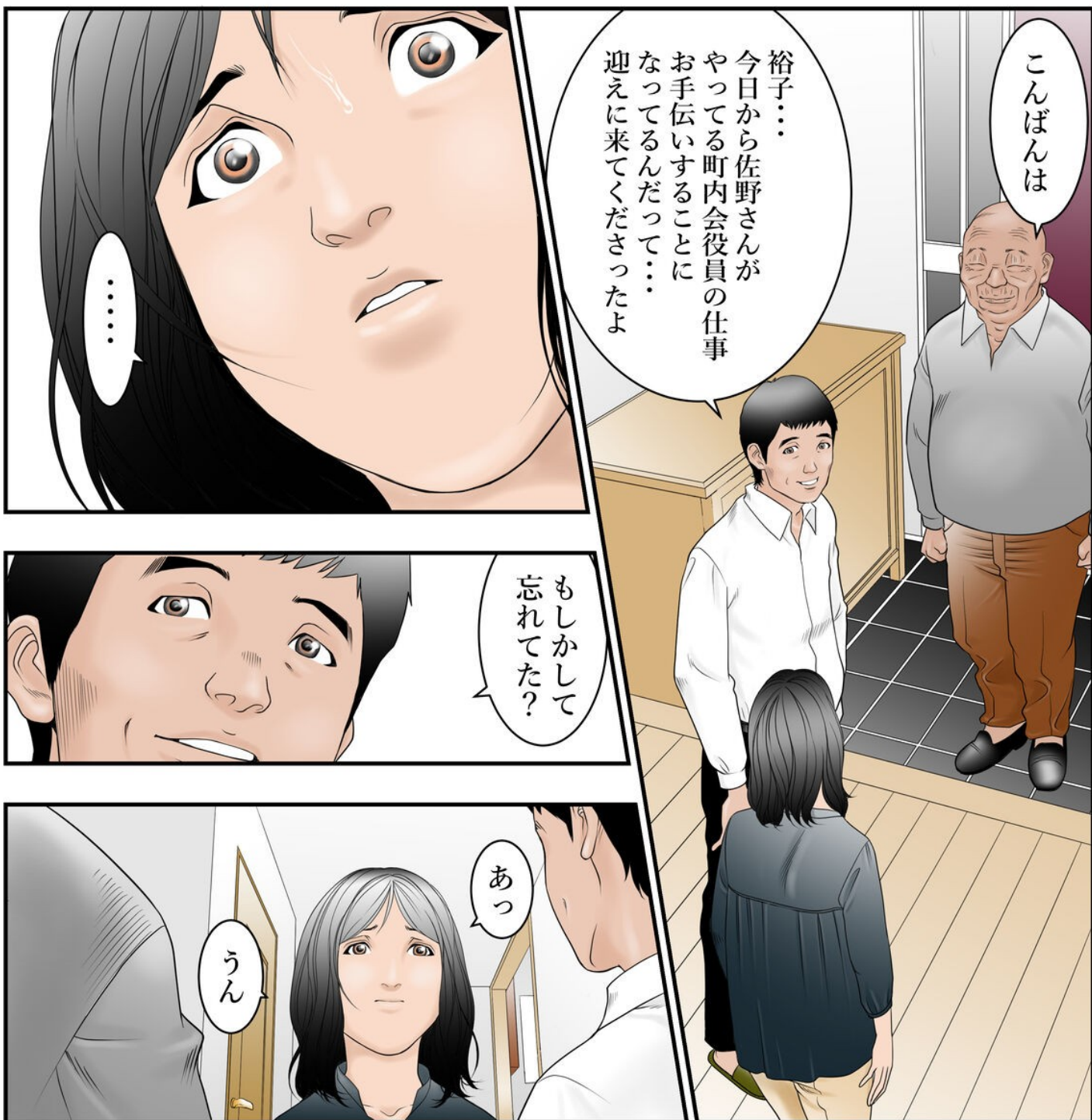
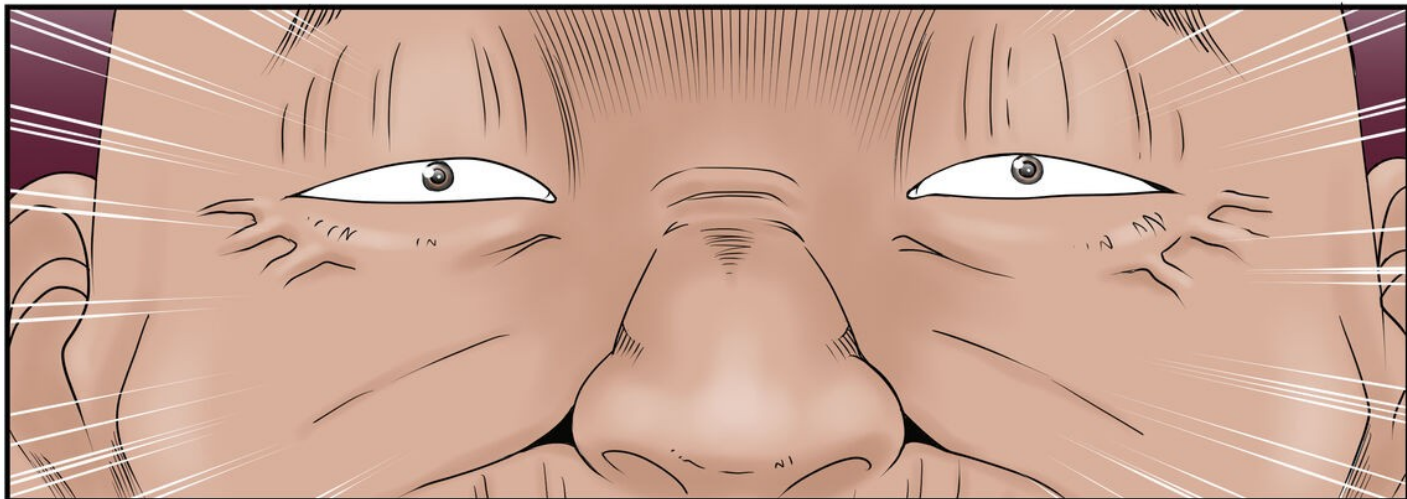
どうして…
どうしてこんな事に…

ずっとこの町で育ち
家庭を持って母になった
平凡な暮らしにも幸せを感じていたのに

突然こんなこと
なるなんて…







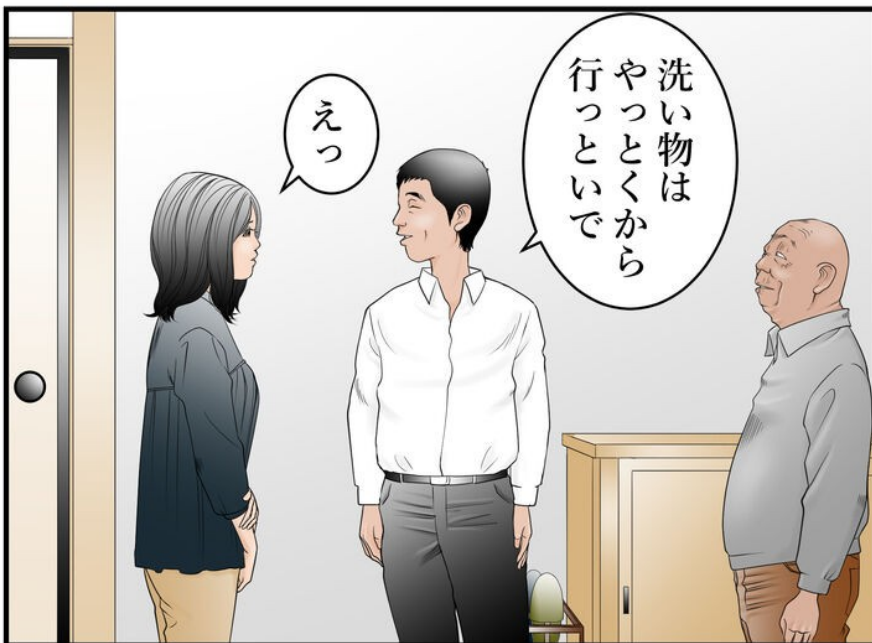
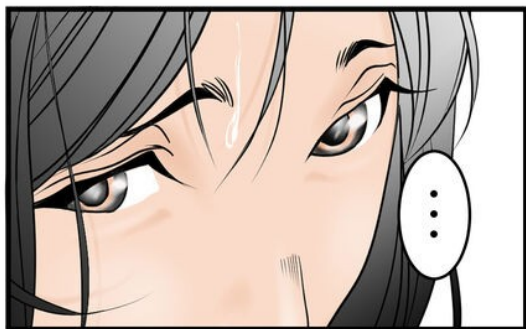
こんばんは

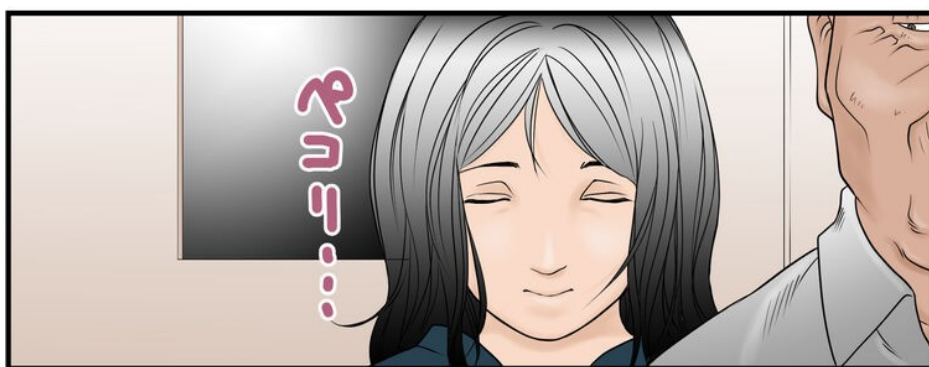
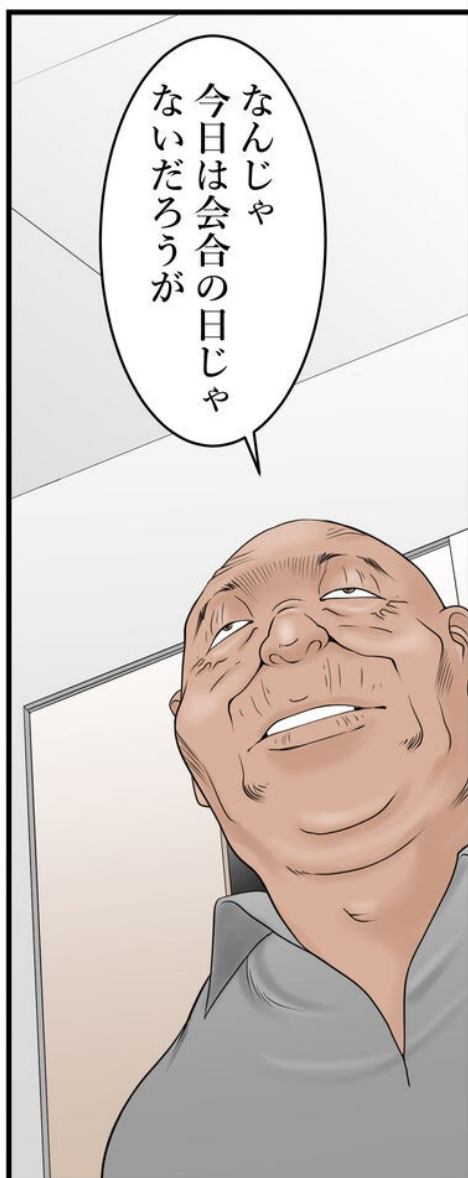
裕子…
今日から佐野さんが
やってる町内会役員の仕事
お手伝いすることにな
ってるんだって…
迎えに来てくださったよ

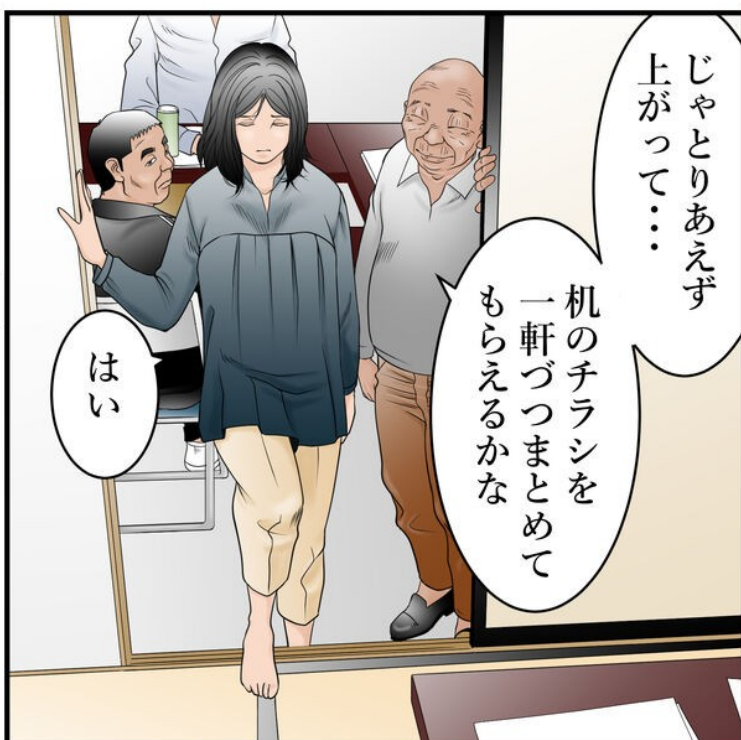
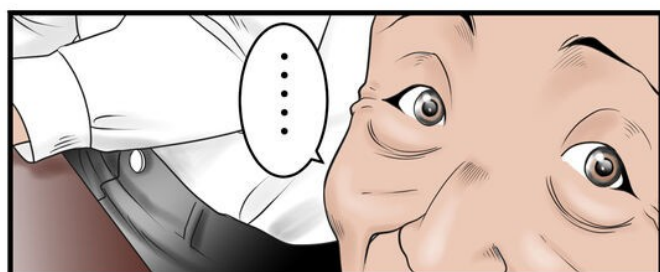
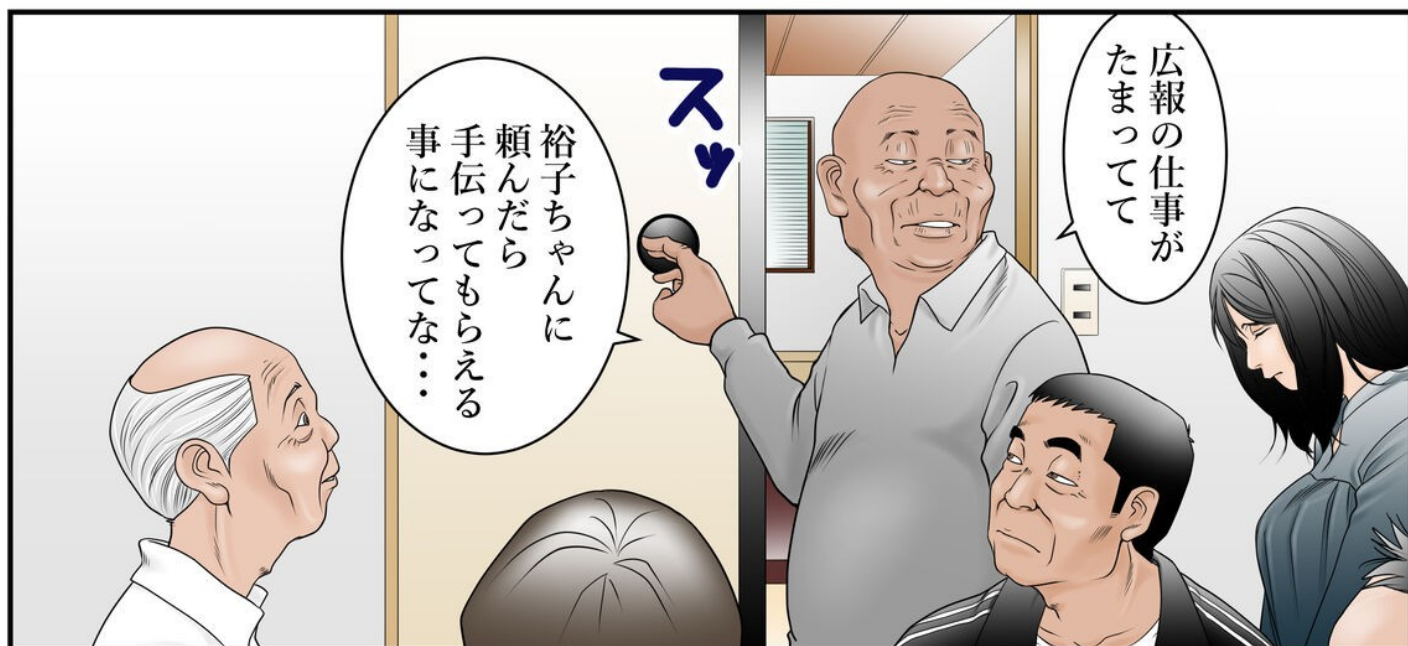
もしかして
忘れてた？

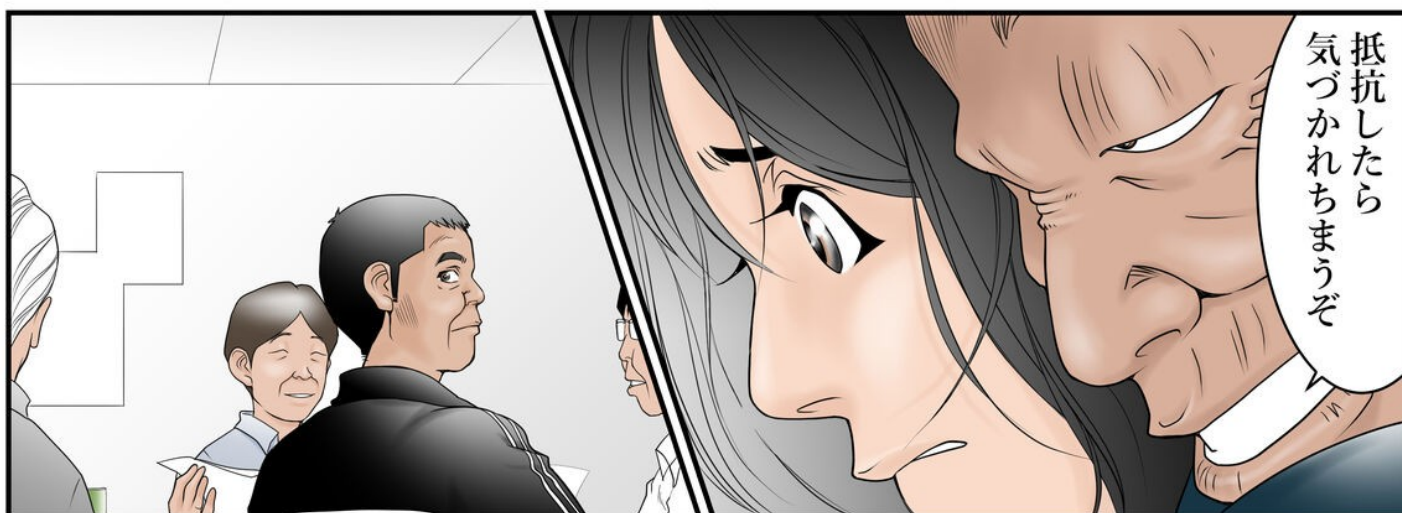
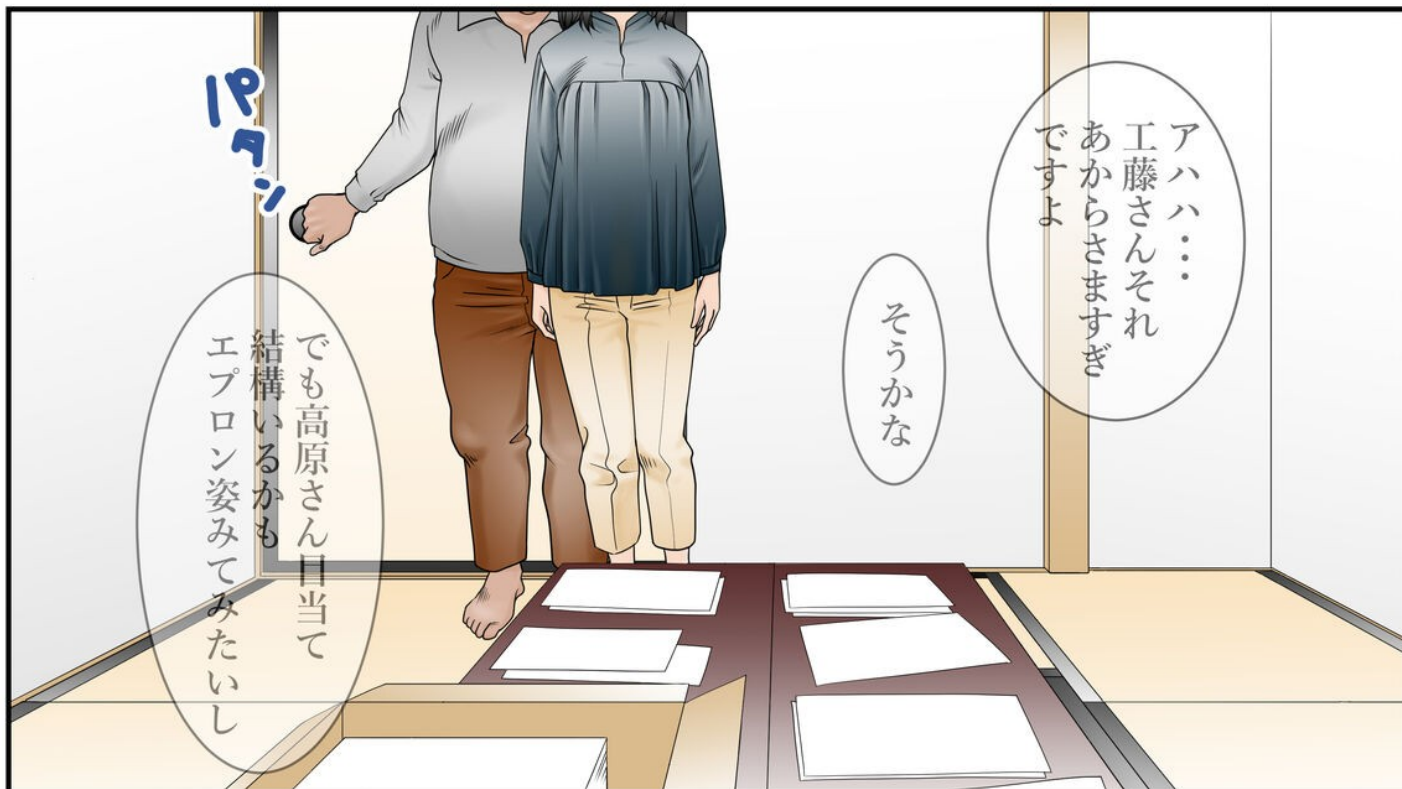
あつ

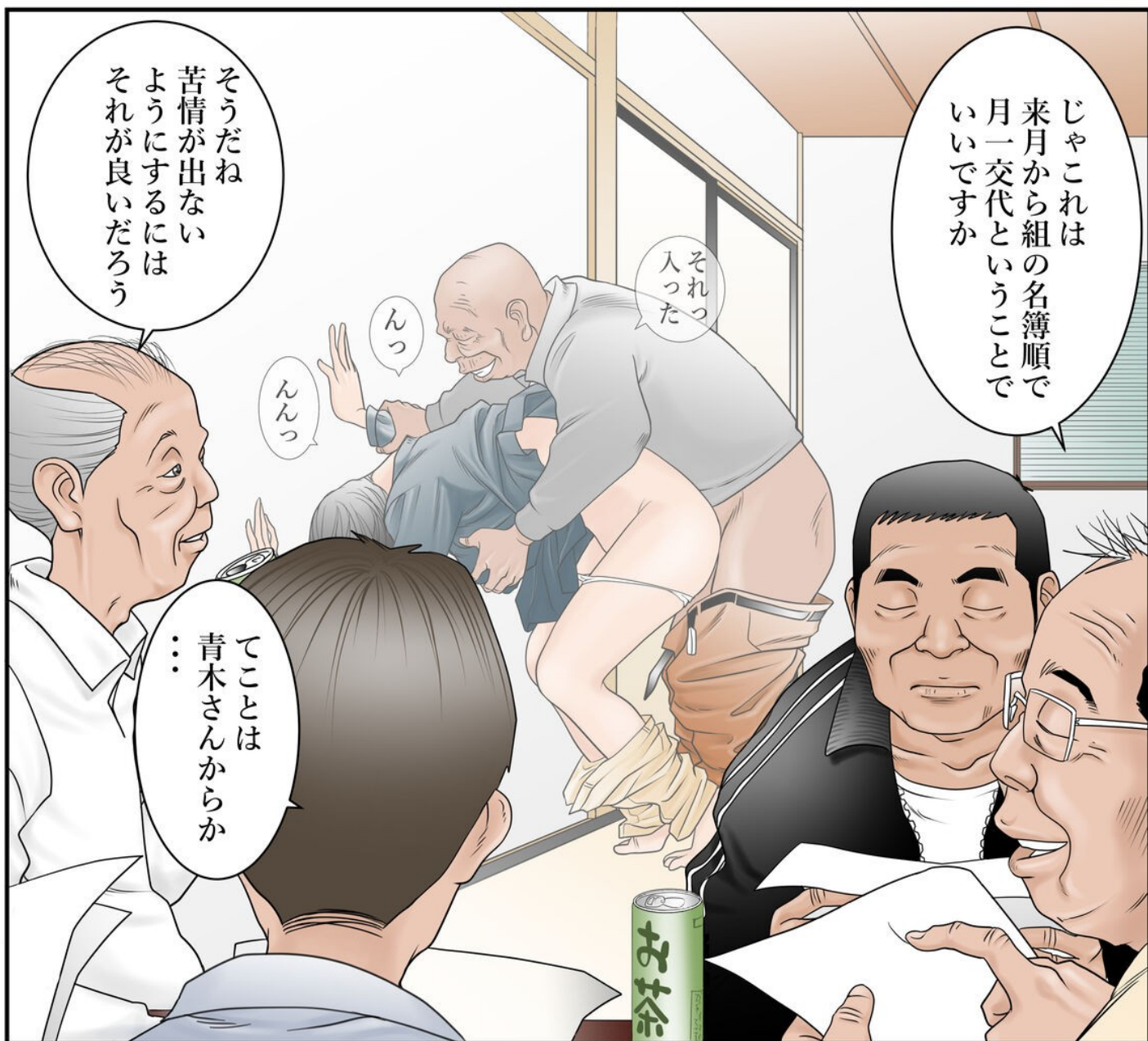
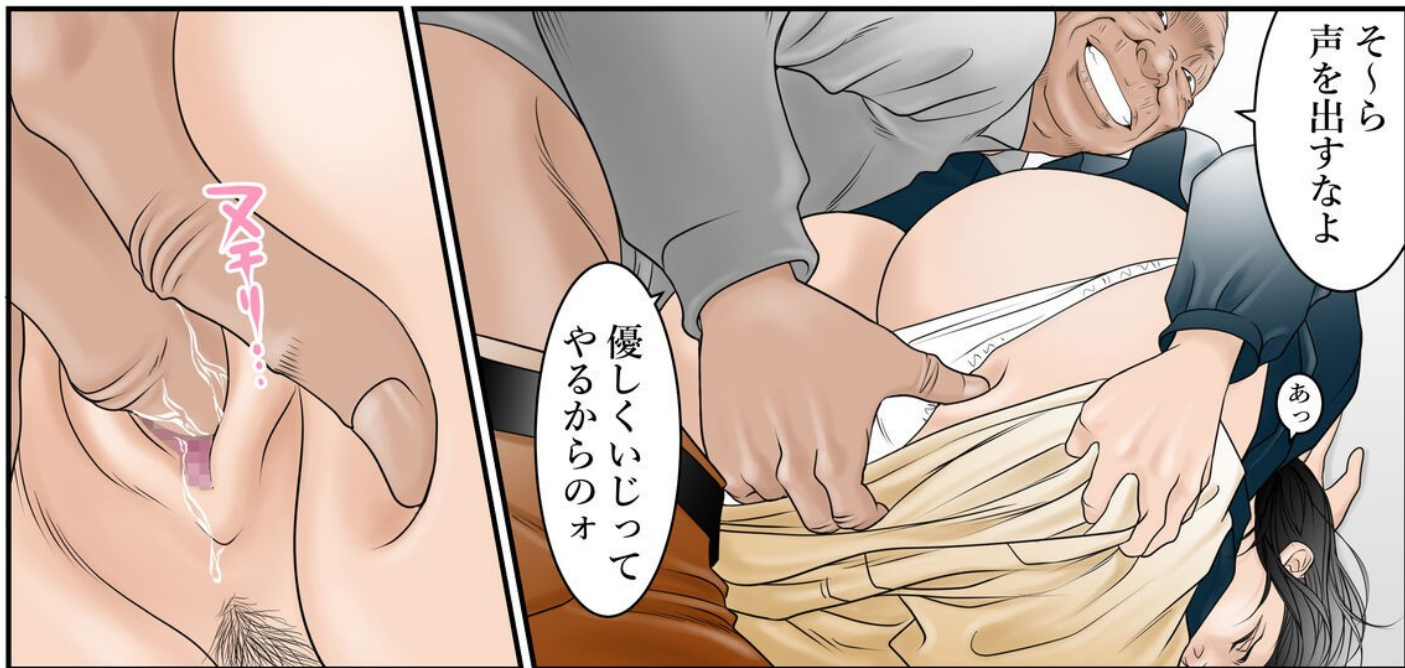
うん



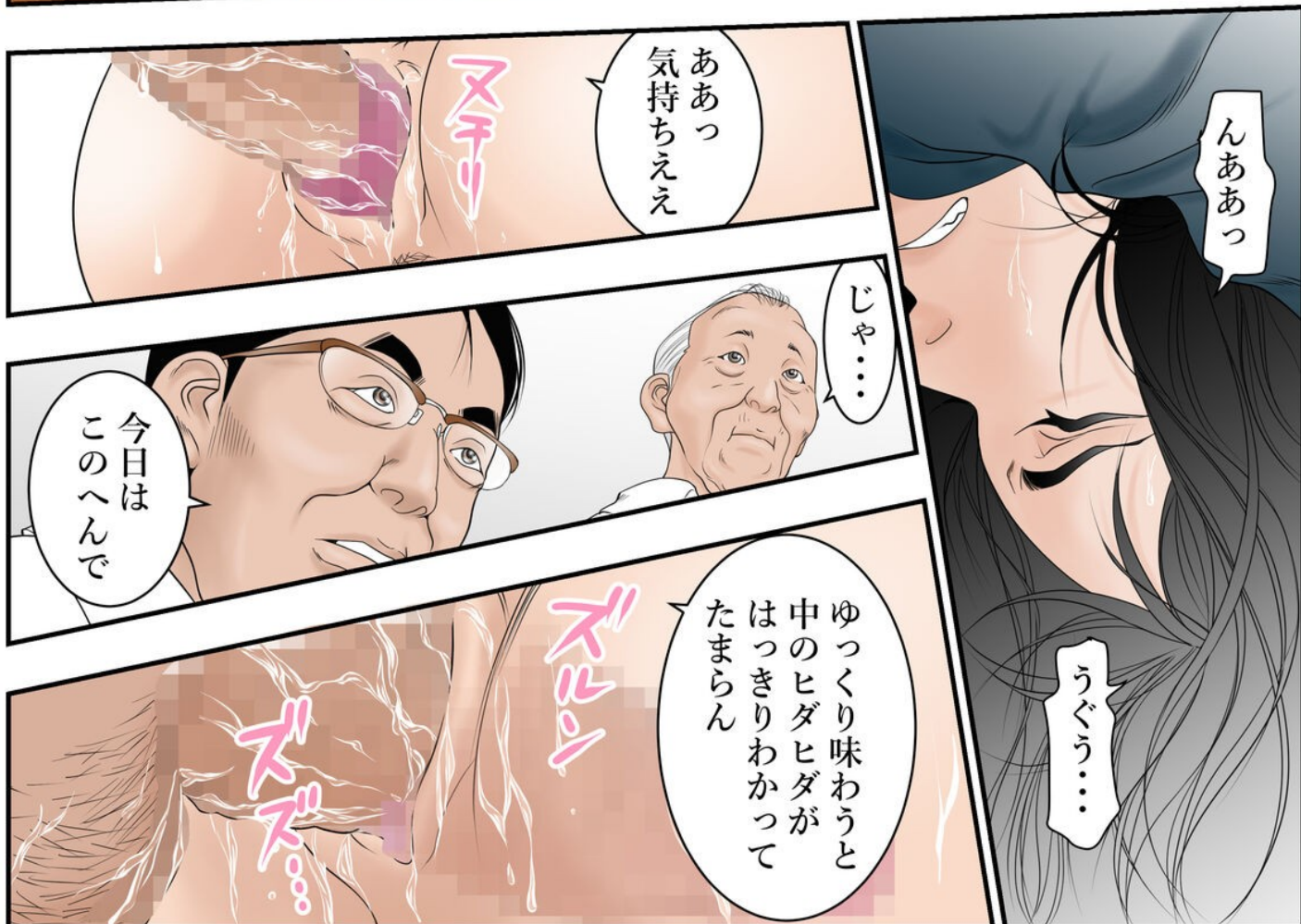
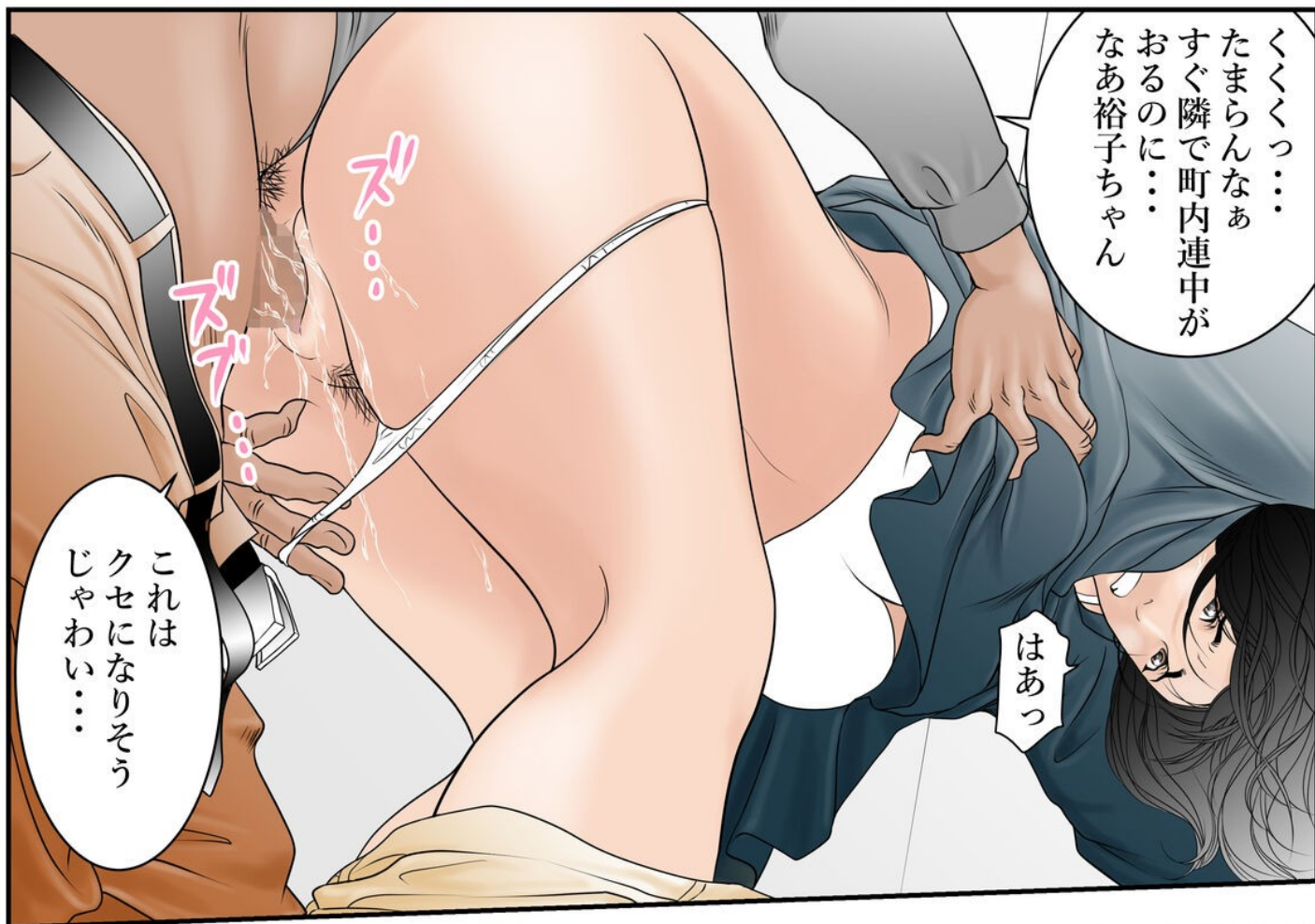


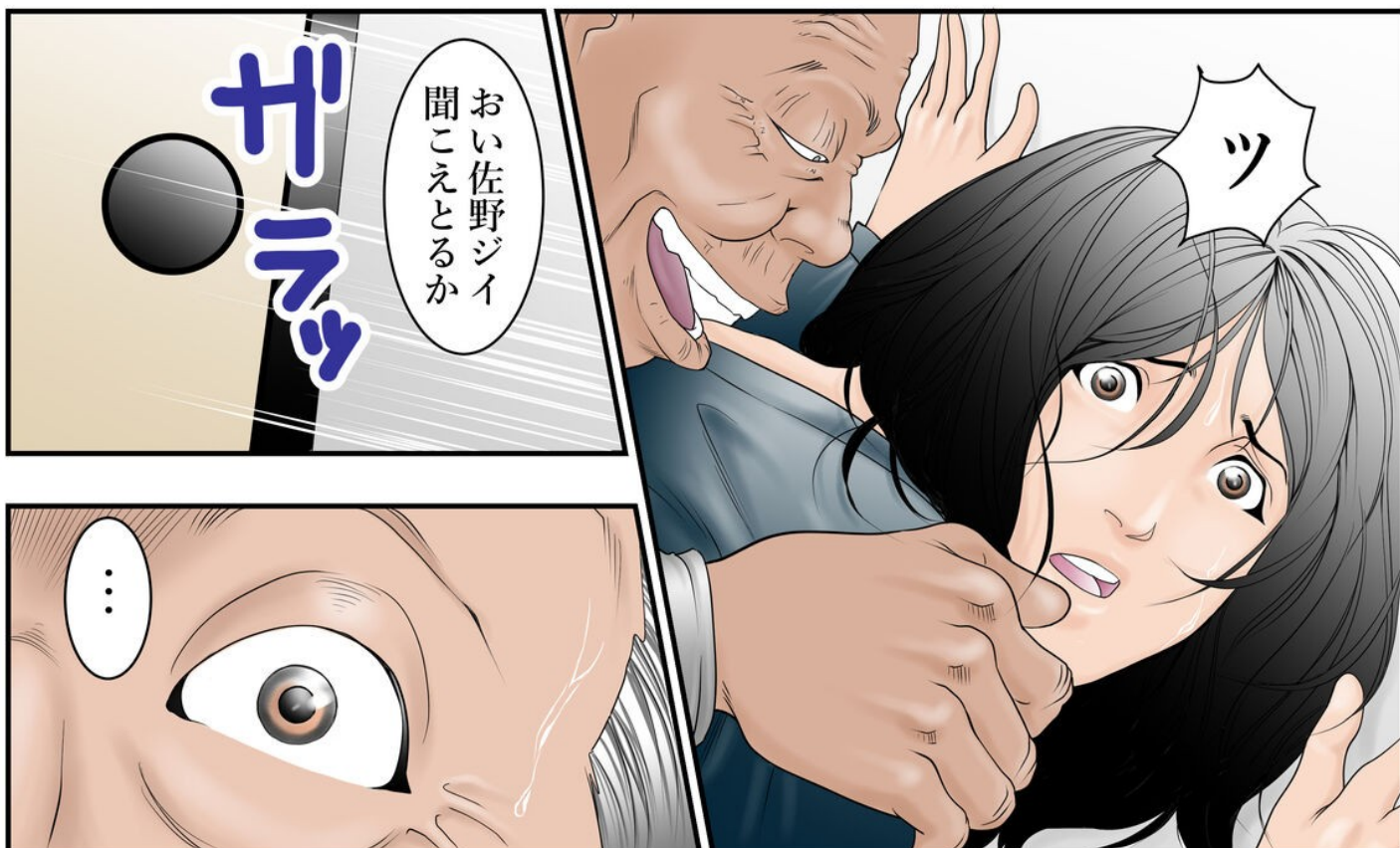
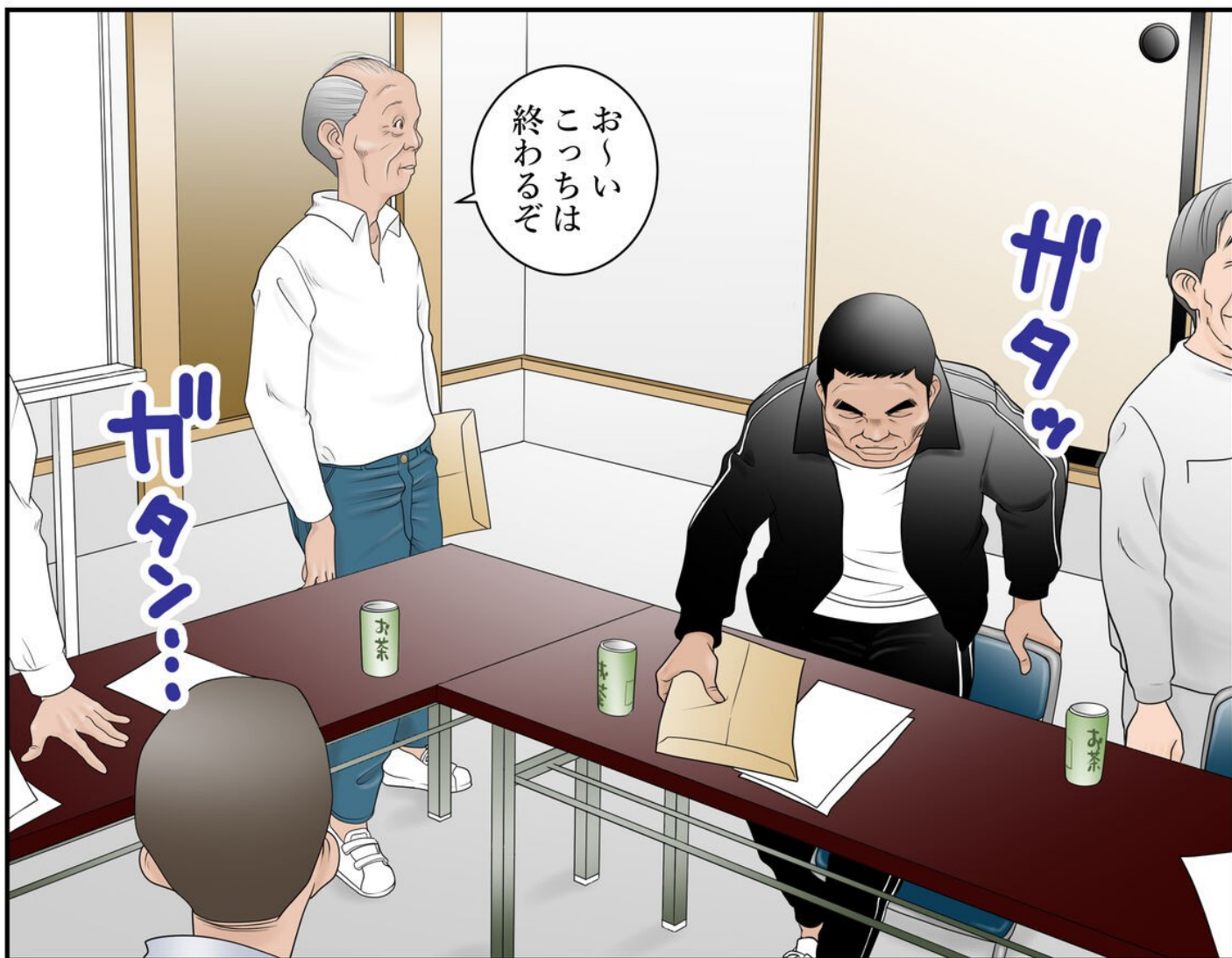


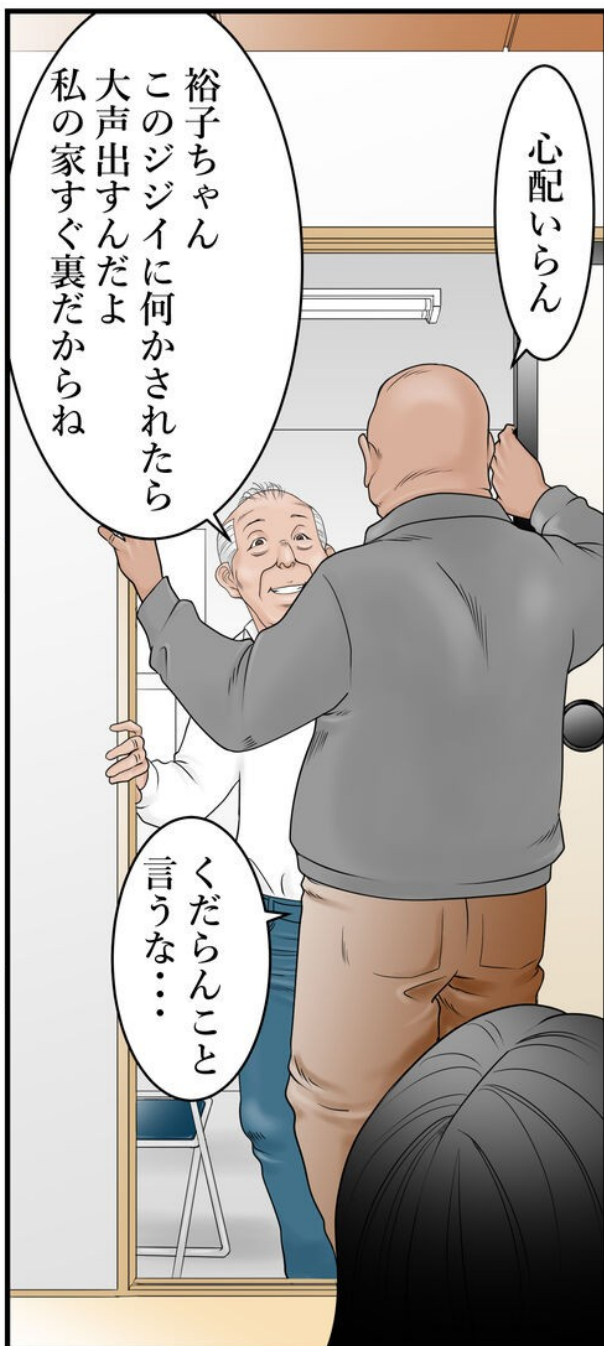
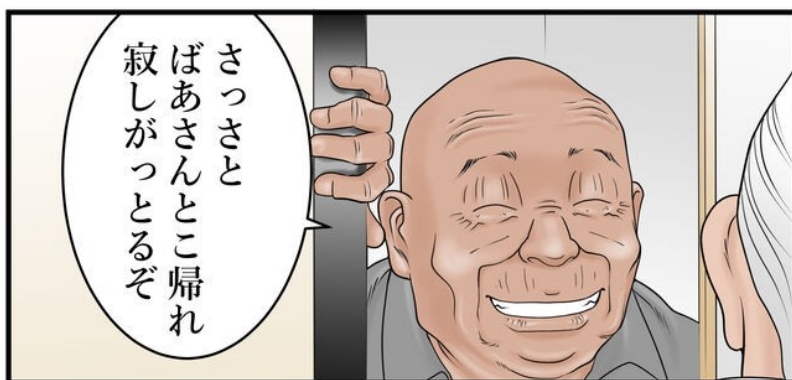


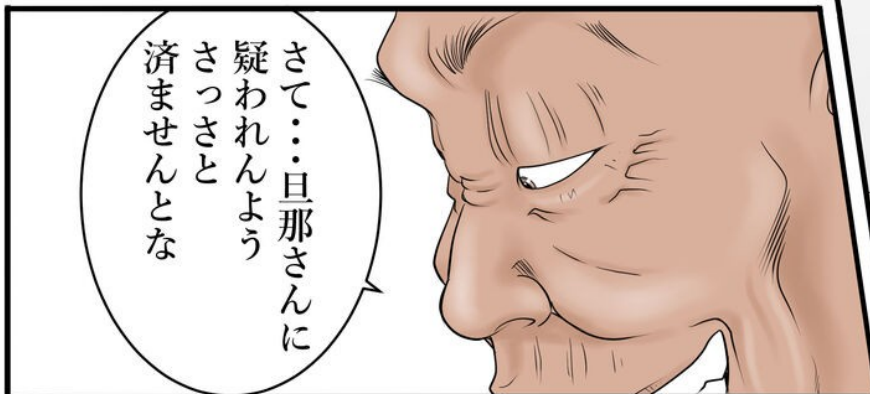
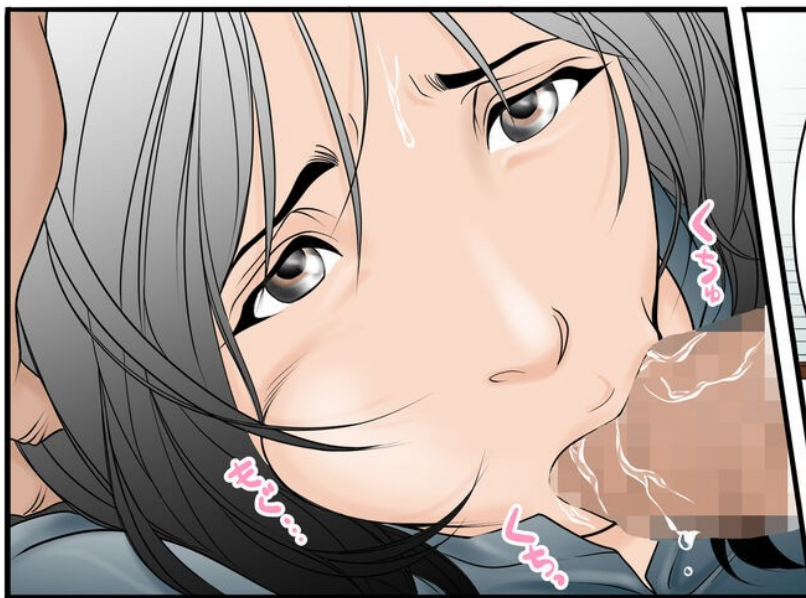
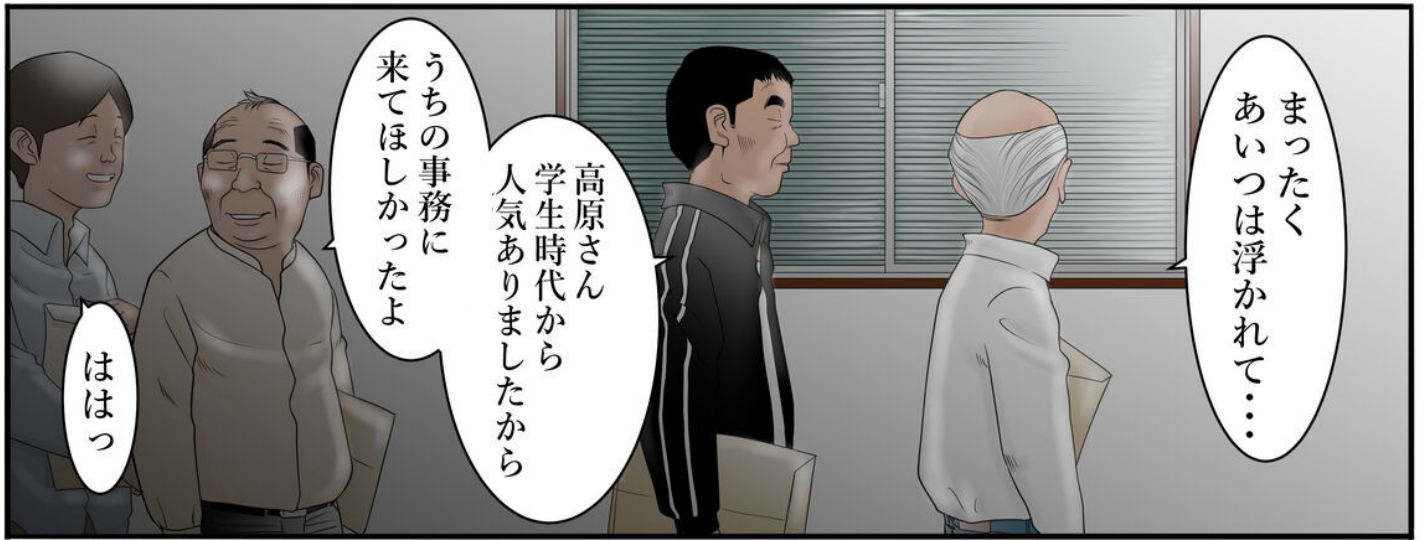


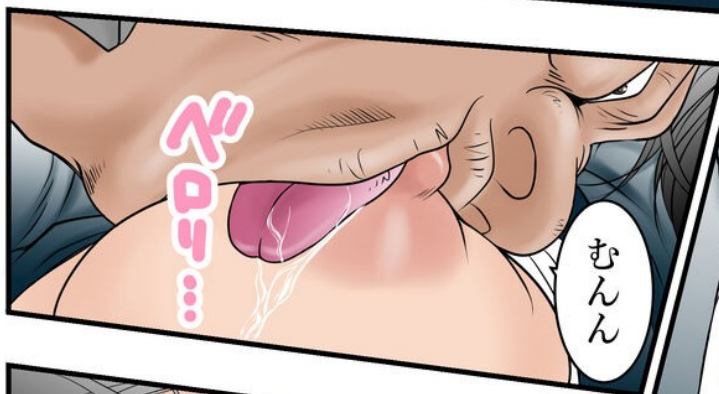
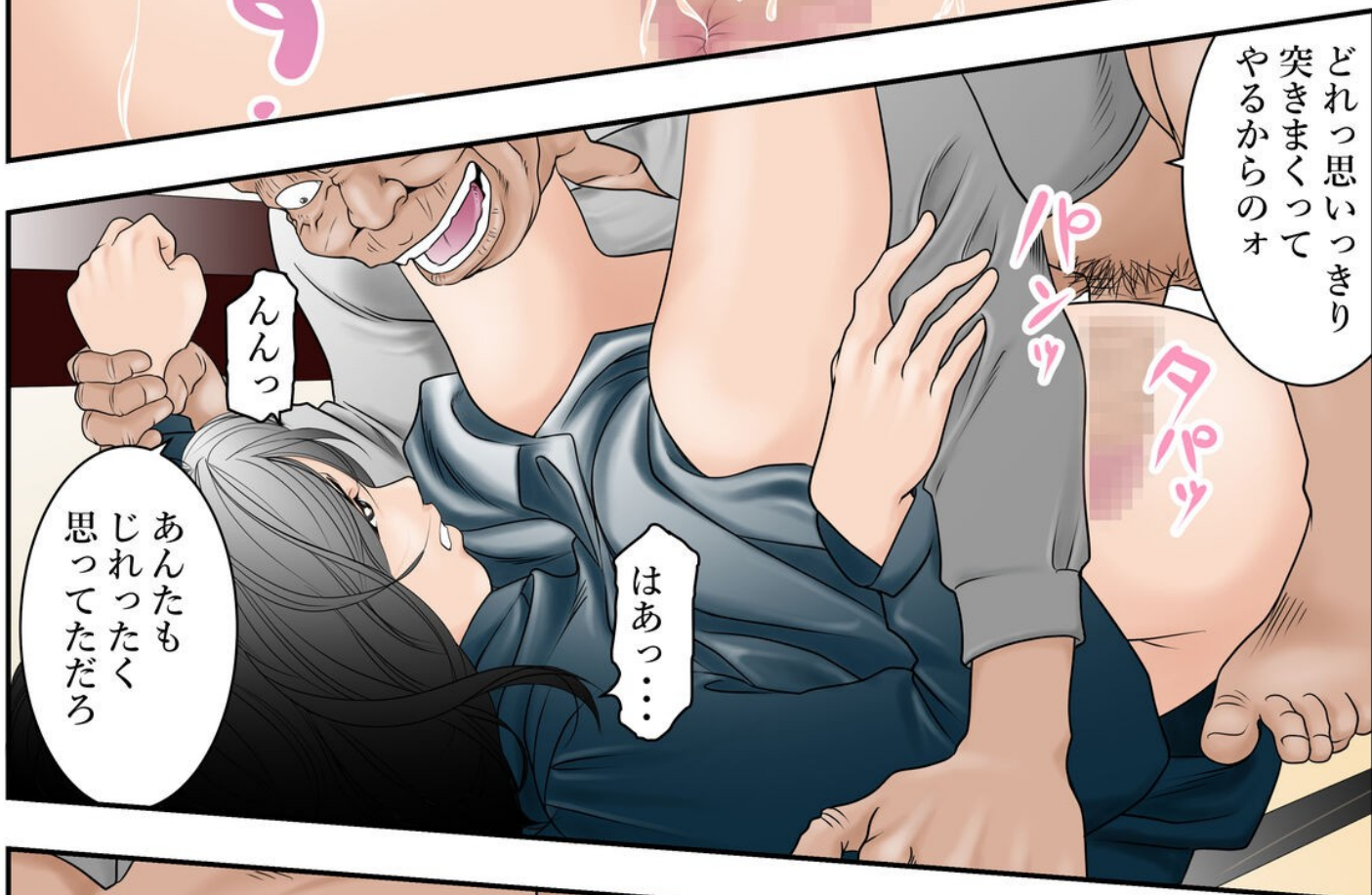
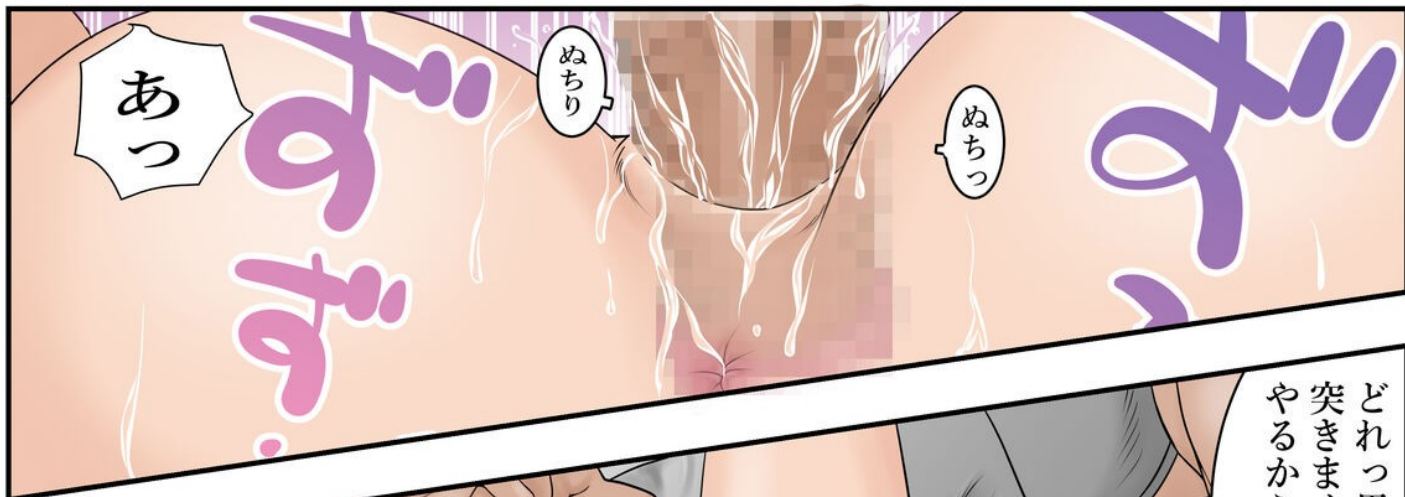


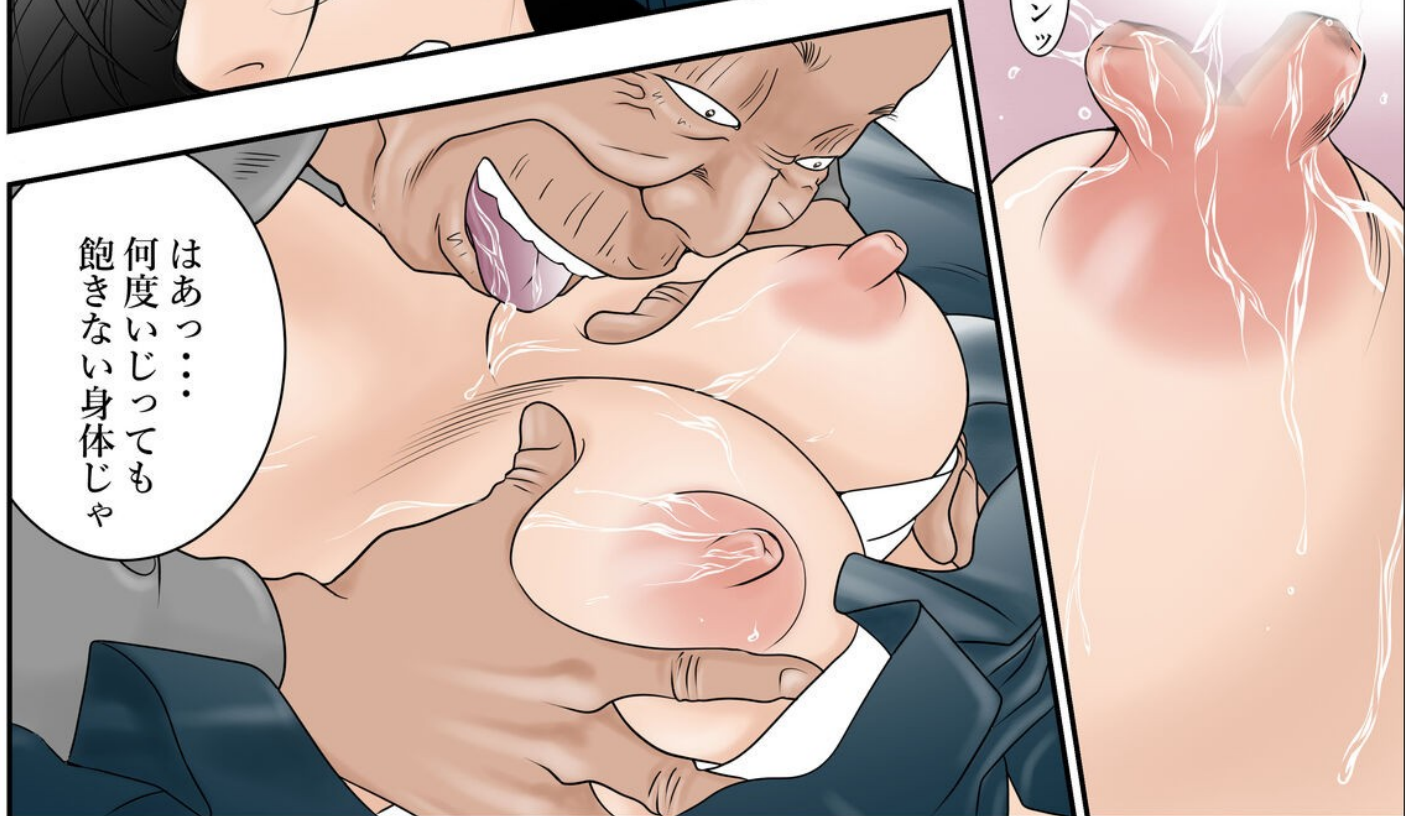
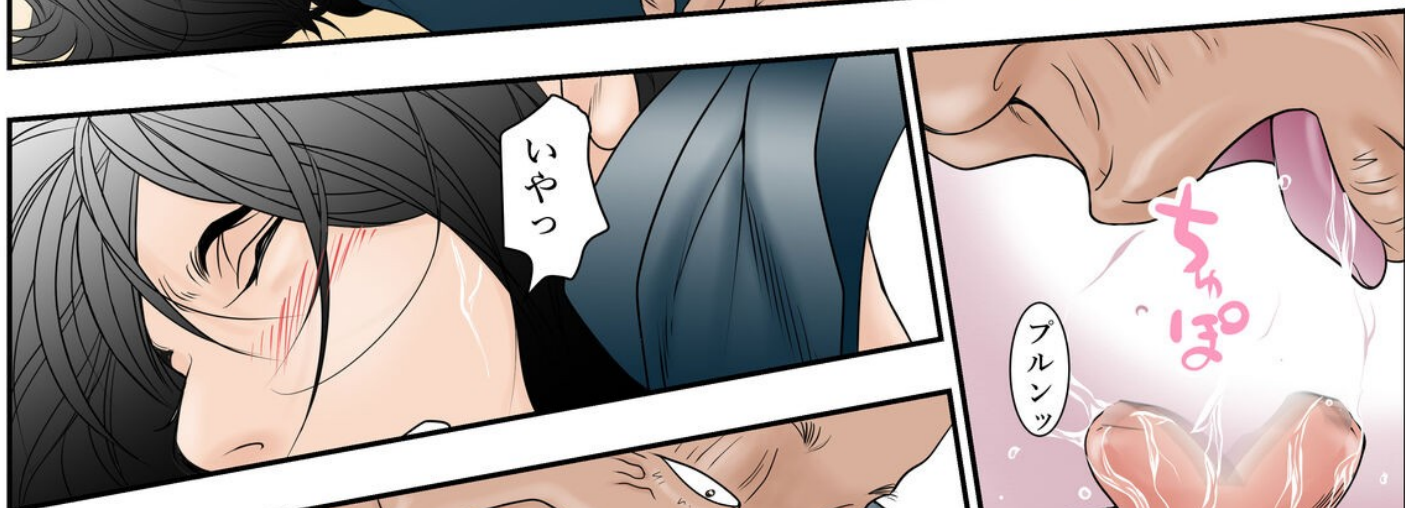


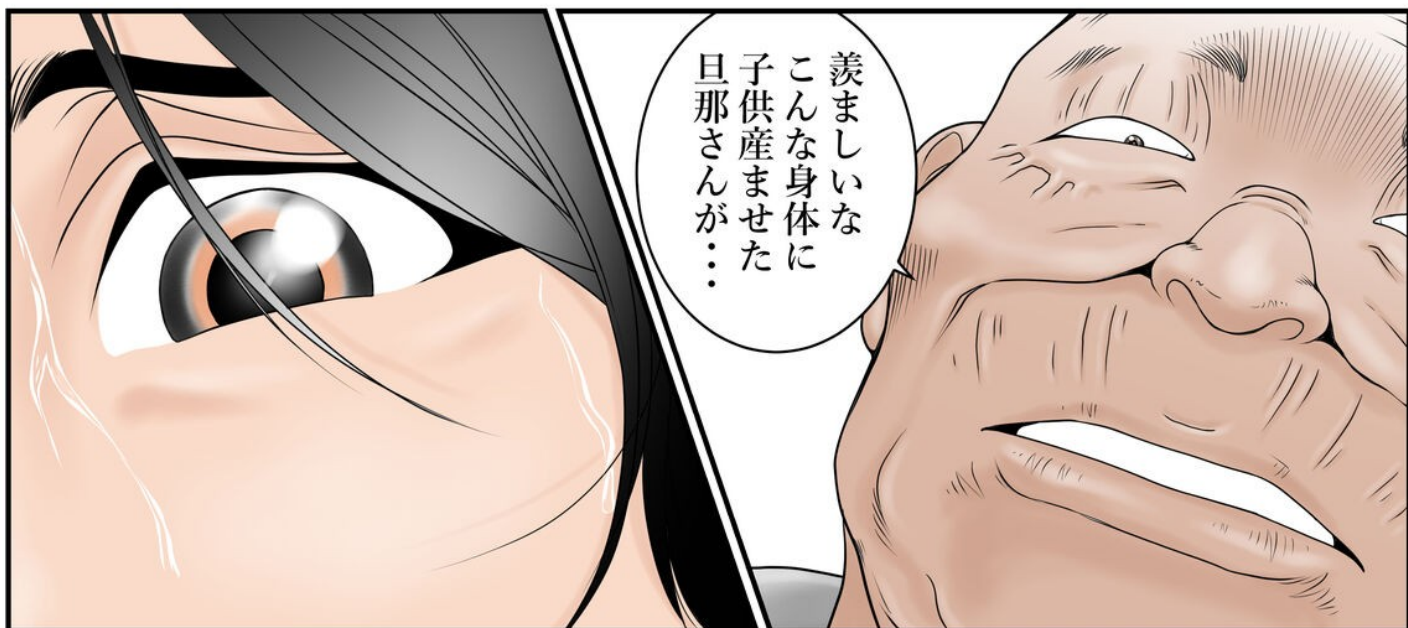


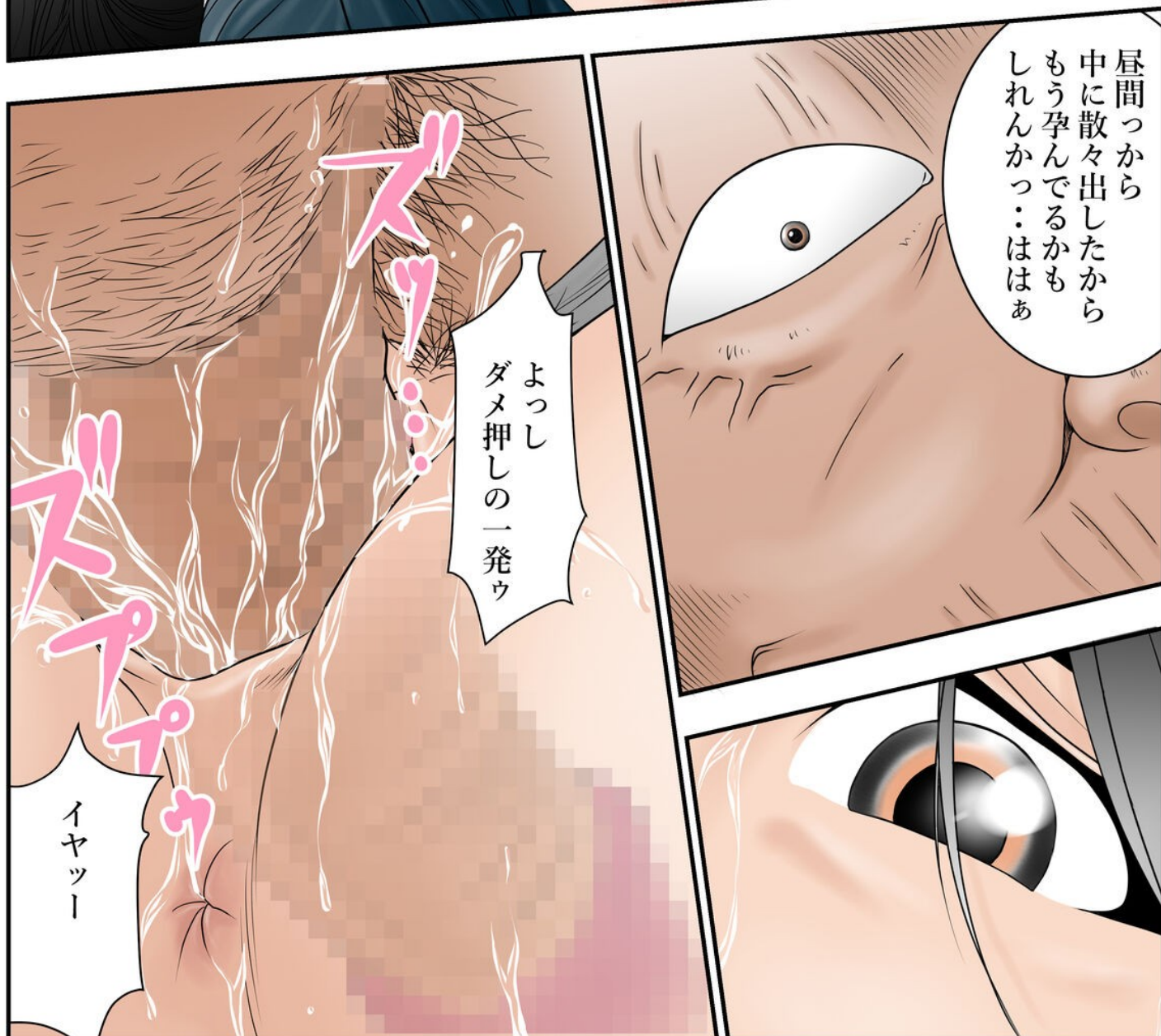












それそれ
心配してる旦那と息子に
土産だあッ

これまでで
一番濃いザーメンを
流し込んでやる
持って帰れーッ

はあッ

ああッ

あッ

ああッ

ダメダメーッ

やめて
やめ……

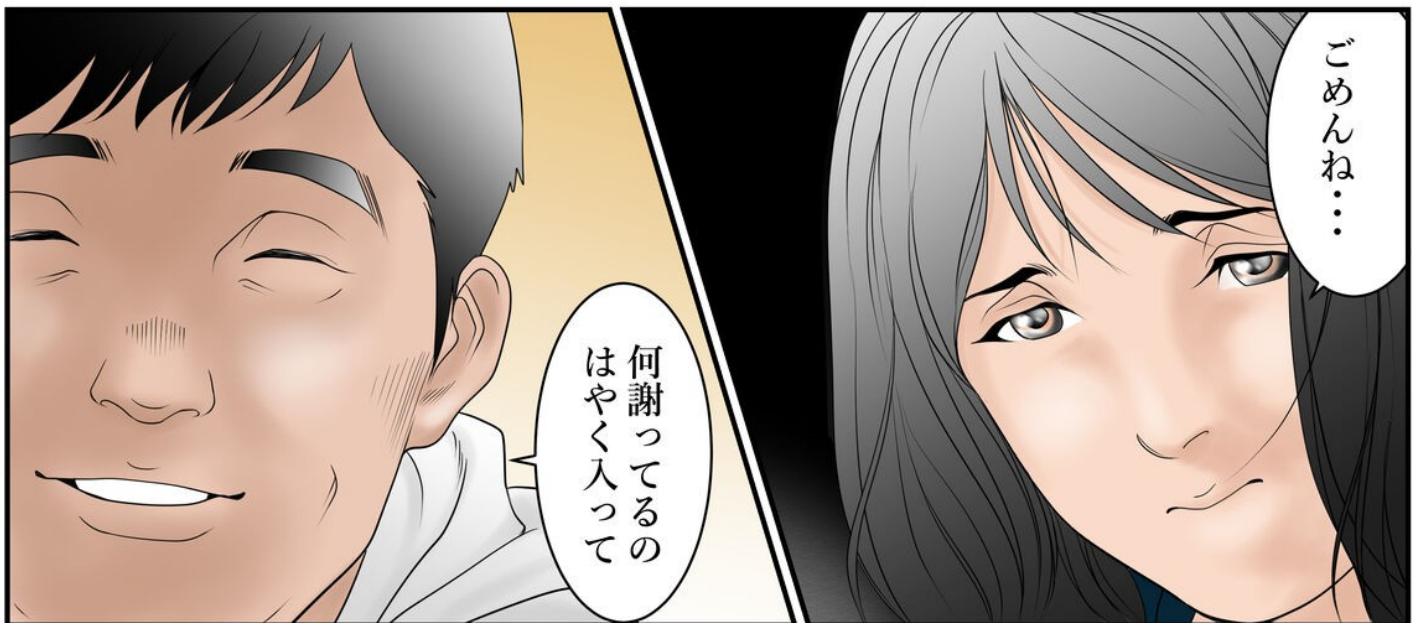
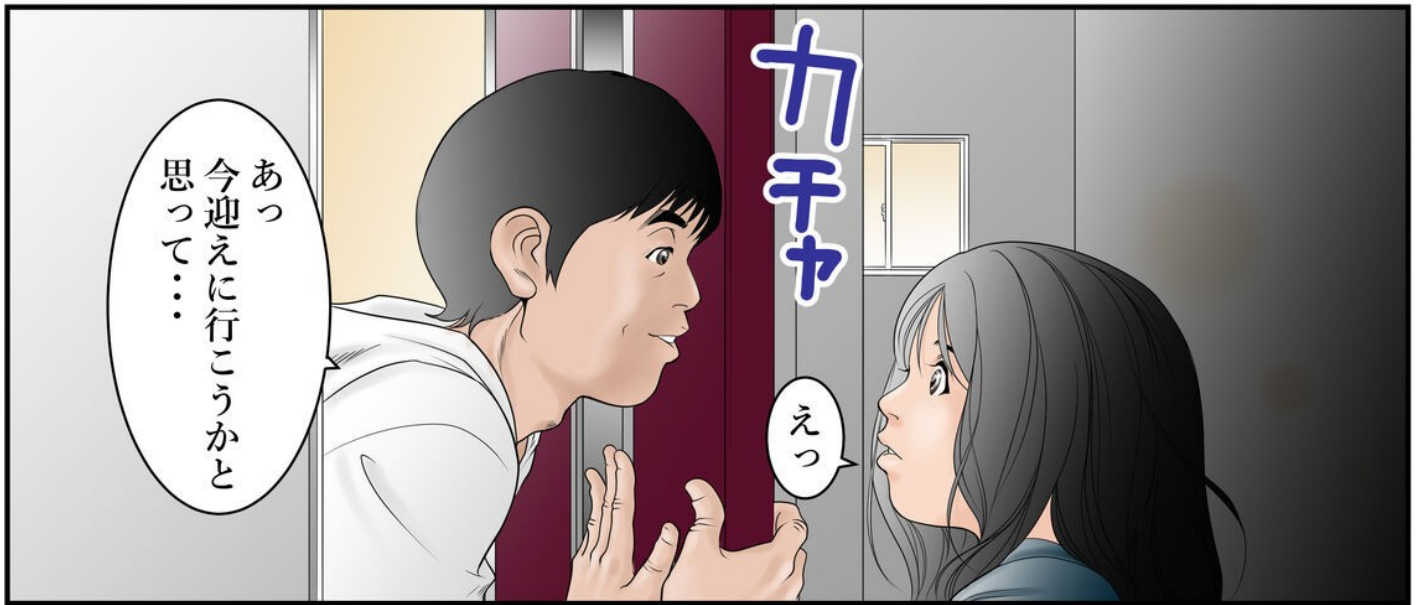
んああッ

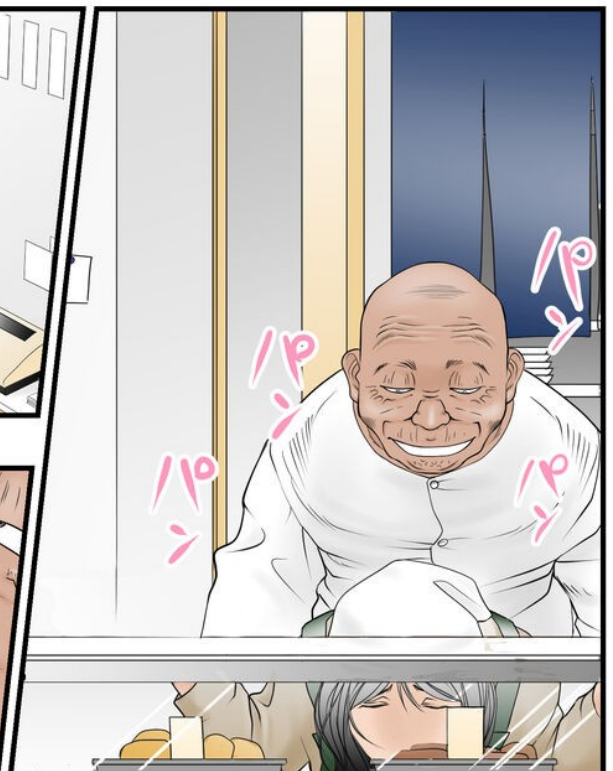
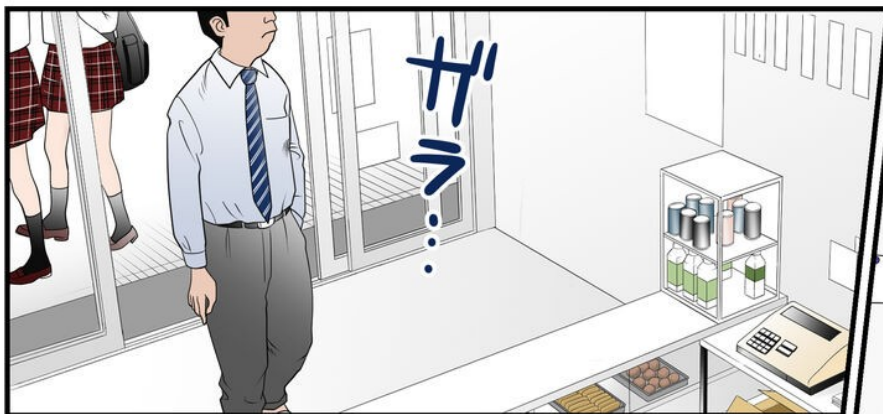
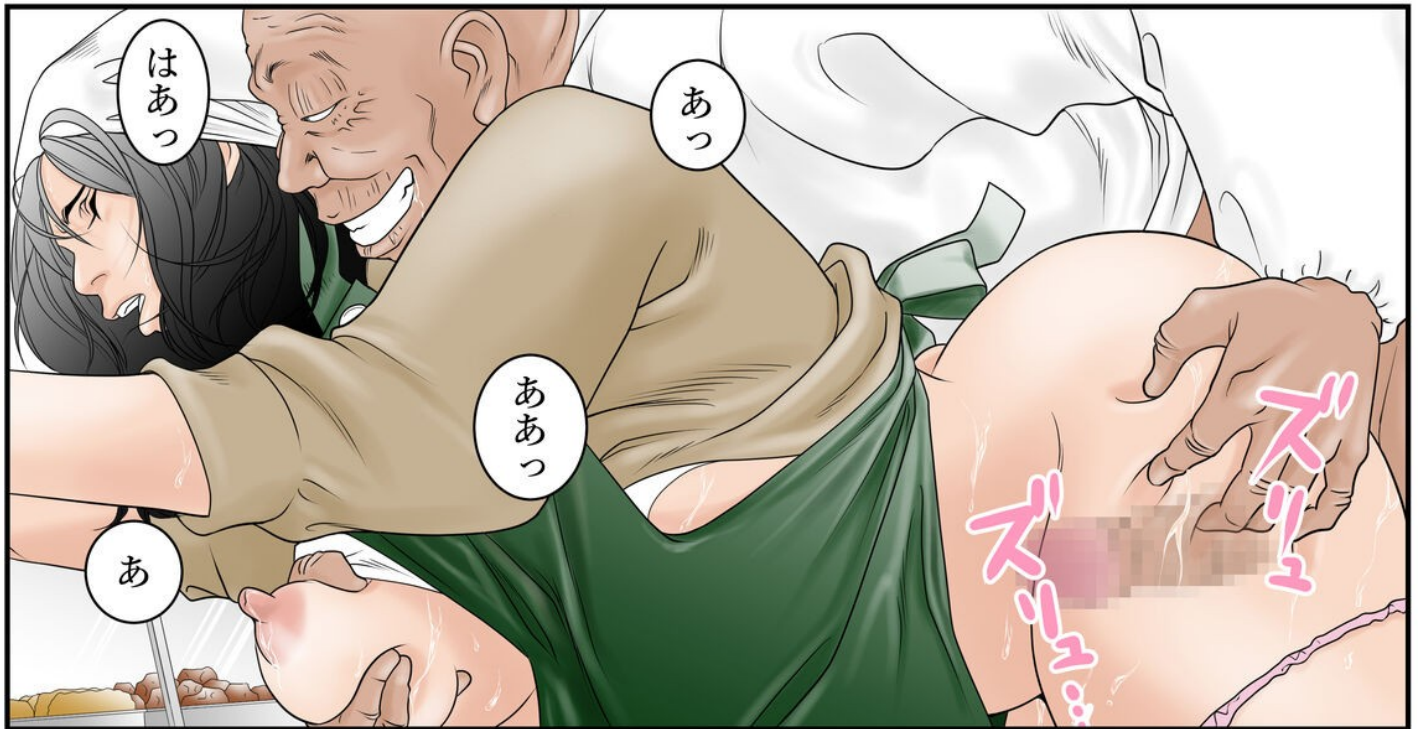


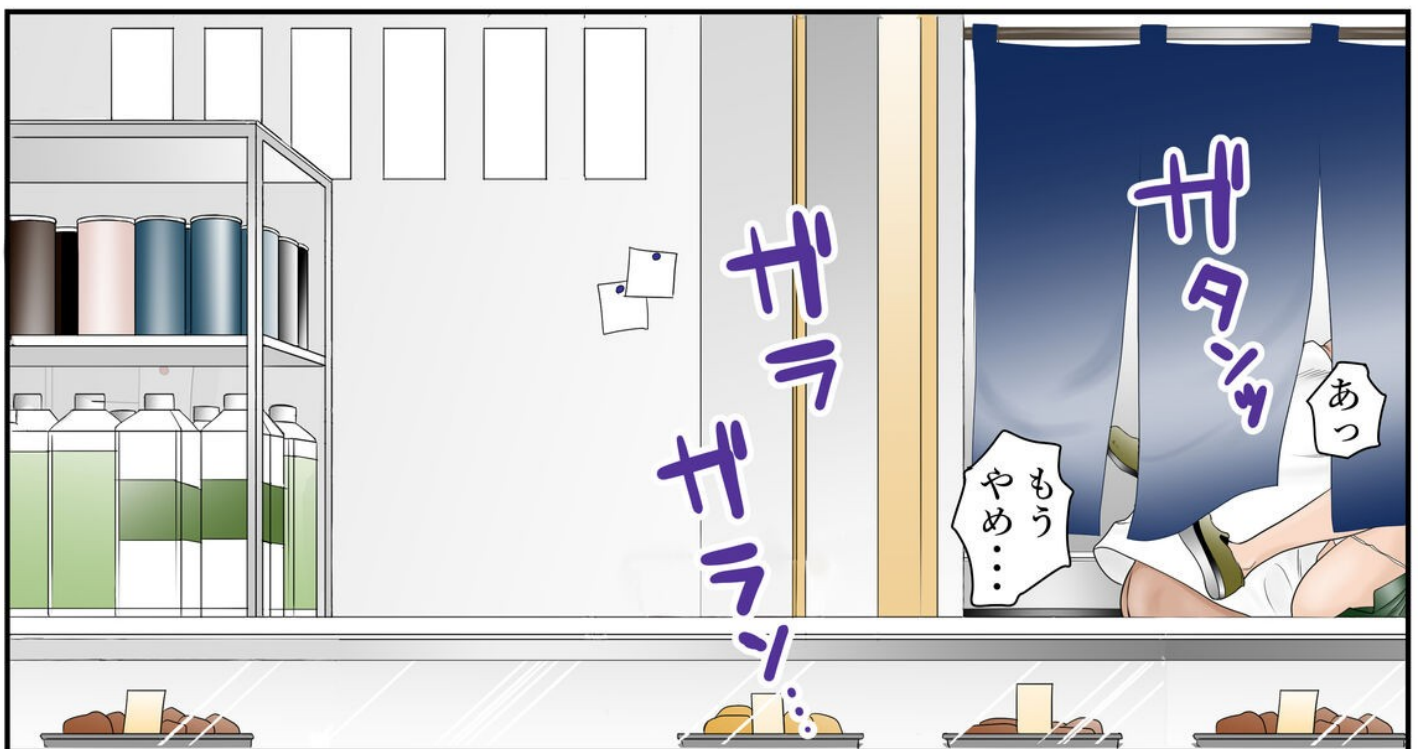
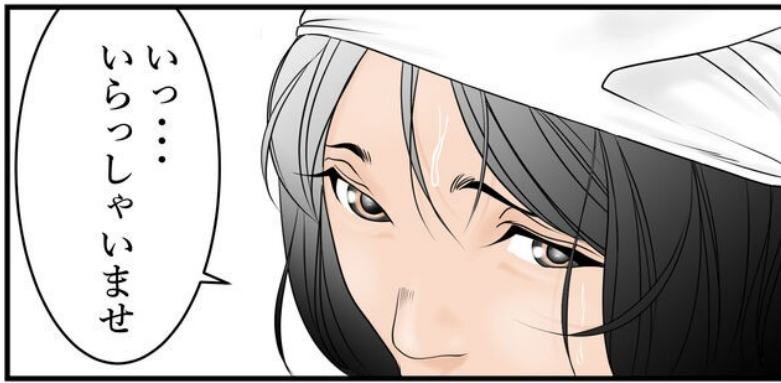
いいなっ
明日からも必ず
出勤するんじゃないぞ……

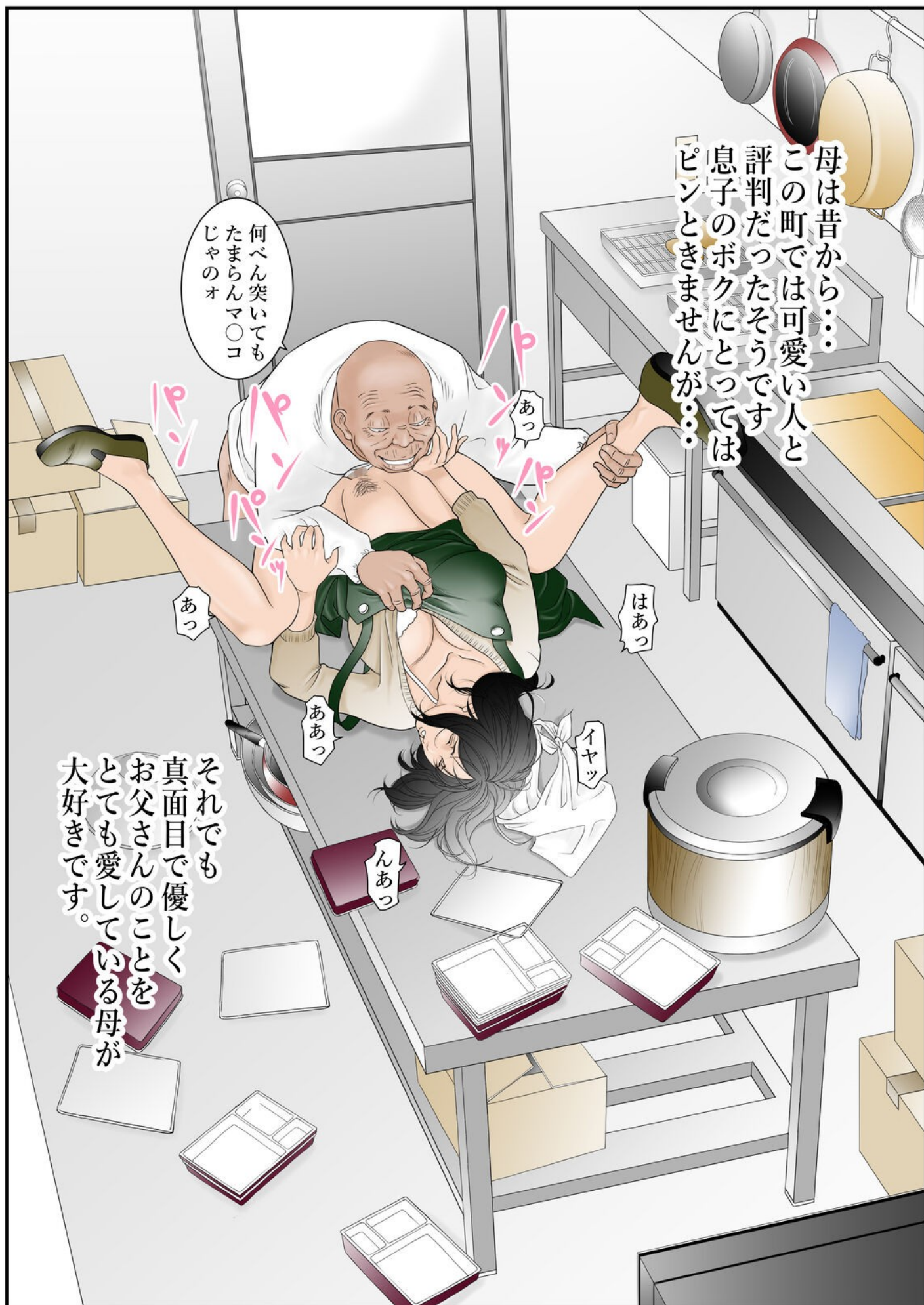
一滴残らずだ……

おもないぞ……









母は昔から…
この町では可愛い人と
評判だったそうです
息子のボクにとっては
ピンときませんが…

何べん突いても
たまらんマ○コ
じゃのオ

あつ

あつ

はあつ

ああつ

イヤッ

んあつ

それでも
真面目で優しく
お父さんのことを
とても愛している母が
大好きです。